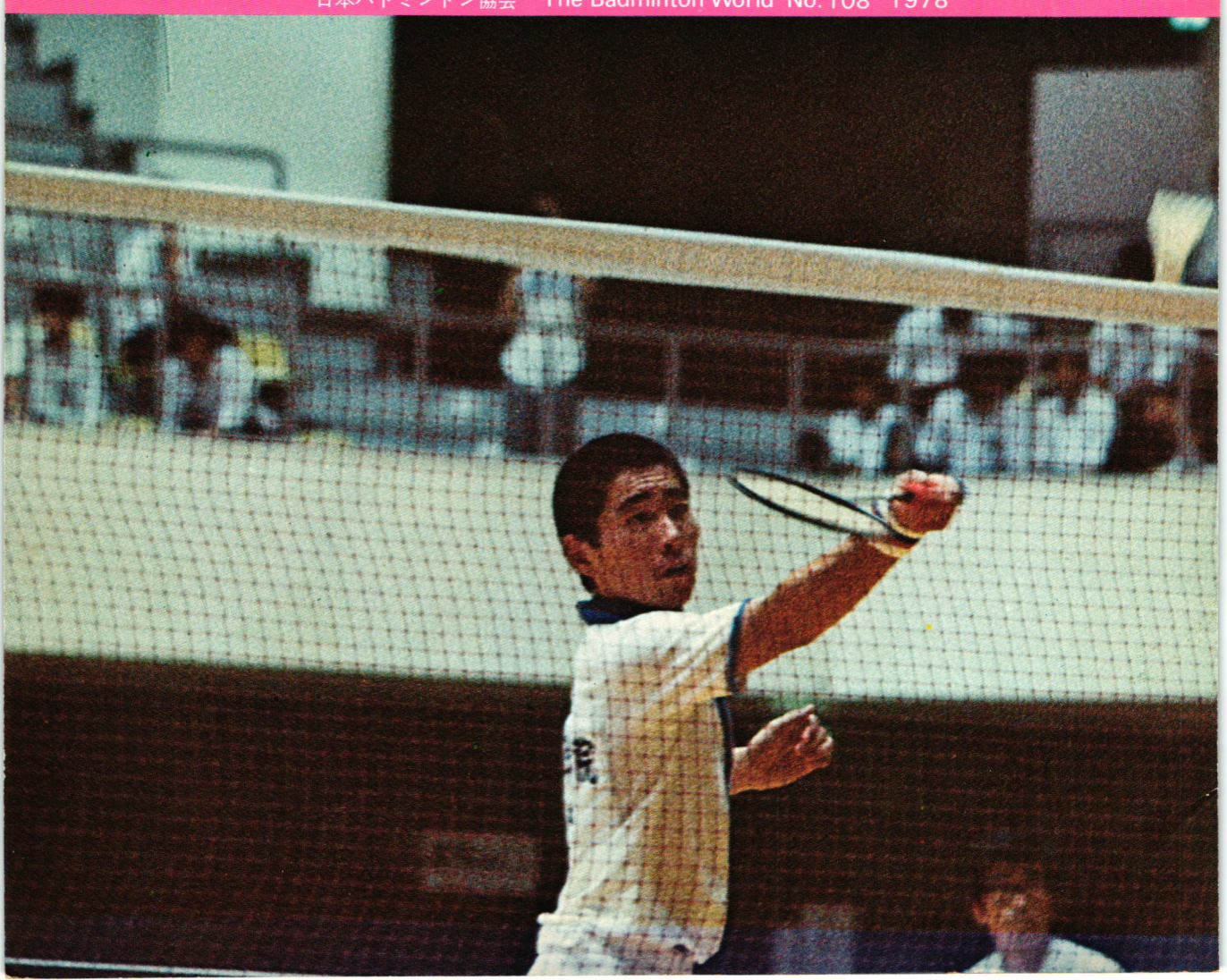
昭和44年12月23日第3種郵便物認可　昭和53年10月15日発行（毎月1回15日発行通巻第108号）

バドミントン 10

日本バドミントン協会　The Badminton World No.108　1978



まずラケットを買ってみる!!買えば運動したくなる。



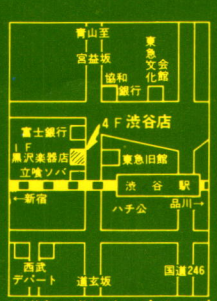
モーニング・サービス実施中

10月15日から12月15日までの期間中、正午までにご来店の方に、当店特製の皮製ネームタッグ、ミニチュアラケットカバー型キーホルダー、アイドルイラスト入りグラスのいずれかを差し上げます。

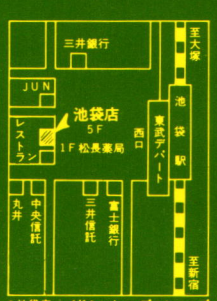
●年中無休

●営業時間　渋谷・池袋店
AM10：00～PM7：00
横浜店
AM10：00～PM8：00

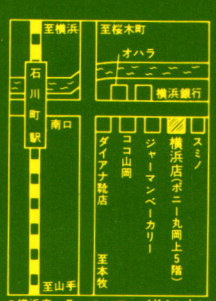
ラケットショップ元町



●渋谷店　バドミントン・プロショップ
☎03-400-7390



●池袋店　バドミントン・プロショップ
☎03-988-0215



●横浜店　テニス・バドミントン
☎045-651-2020

バドミントン界 10

❷
インターハイ
九州学院、初優勝に輝く

❹
インターハイ
四条畷〝記録へ王手〟4連覇

❻
インターハイ
権藤クン、2年生の3冠王

❽
インターハイ
北田さん、大物ぶり発揮

❿
連載・ハッシュマン夫人
スターティング・バドミントン3

⓰
われらのクラブ14
三宿バドミントン・クラブ

㉜
ラケット・アンケート㊦
悦子さん、土田はどんなラケット？

㉞
読者と編集者
「ガッツ・バドミントン」を読んで

㊱
第8回全国中学生大会
神奈川、歓喜の初栄冠

㊳
第8回全国中学生大会
熊本、断然の4連勝

㊵
第18回西日本学生大会
単は田島、石川が勝つ

㊷
手のひらにのる
モスクワ・1980年

㊸
連載・高田正純
「冷血」

㊻
日本、インターゾーン進出を決める

㊼
連載・寺田太郎
「心中天の網島」

◇表紙デザイン・構成、本文カット＝野間デザイン室／表紙・本文写真＝赤星三樹（使用カメラ・レンズ＝アサヒペンタックスMX、K2　SMC－P－M50/1.4　SMC－P　200/2.5　300/4）／現像処理＝㈱クリエイトフォト・タカ◇今月の表紙＝第29回全国高等学校バドミントン選手権大会で三冠王の権藤浩二選手（九州学院）

第29回全国高等学校バドミントン選手権大会

優勝に輝く

好機を逸す

〝若人の祭典〟第29回全国高等学校バドミントン選手権大会は、8月3日の開会式をスタートに、会津若松市・会津体育館、会津工、会津高、会津女、若松女、若松第二中、富士通の各会場で8日までの連日、文字通りの熱戦が繰り広げられました。

今年は、例年にない猛暑で、各選手のコンディション作りが心配されましたが、そこは高校生ならではの〝若さ〟が解消、今年のスローガン〝限りない力と豊かな心〟を象徴するような熱気が充満していました。

地元福島勢も、男子が大活躍、団体戦、個人戦に上位進出を果たし関係者の注目を浴び、大会を一層盛り上がるものにしていました。

▼男子団体3回戦

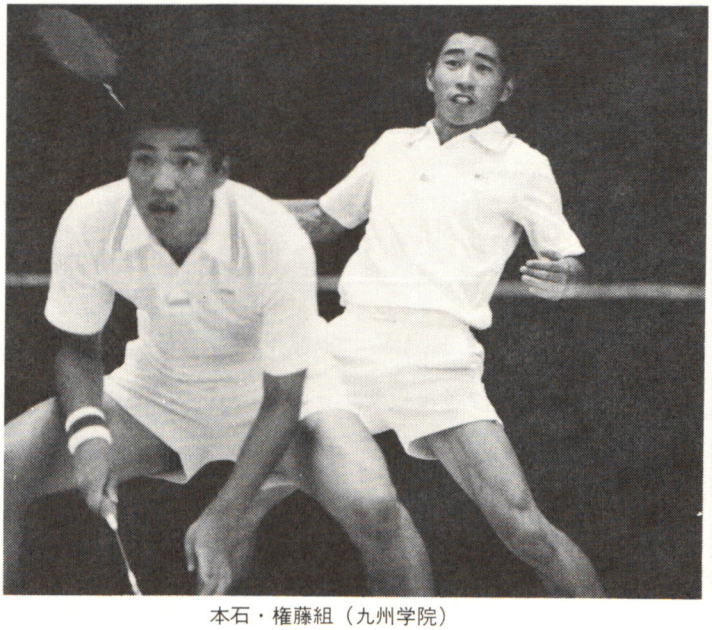
比叡山（滋賀）	3—0		高松商（香川）
東奥義塾（青森）	3—0		帯広柏葉（北北海道）
九州学院（熊本）	3—2		吉田商（新潟）
足羽（福井）	3—2		日大鶴丘（東京）
高岡商（富山）	3—2		日大高（神奈川）
会津工（福島）	3—1		正強（奈良）
日大山形（山形）	3—0		真岡農（栃木）
金沢市工（石川）	3—0		宮崎工（宮崎）

▼同準々決勝

比叡山	3—2		東奥義塾	
横田 2	15 15		白取 0	
保科 2	13 11		高橋	
桂 藤野 1	12 5 15		鈴木 田中 2	
	15 15 13			
川島 0	15 5		白取 2	
	18 15			
保科 2	15 15		鈴木 0	
	9 3			
横田 2	15 15		高橋 0	
	4 13			
本石 権藤 2	15 16 15		大瀬 黒川 1	
	4 17 3			
村上 田中 2	15 17		下村 井上 0	
	5 14			
権藤 2	15 15		大瀬 0	
	4 0			
新田 清野 2	15 15		東野 平野 0	
	8 4			
渡辺 2	15 18		末坂 松岡 0	
	9 15			
渡辺 0	2 9		末坂 2	
	15 15			
会津工	3—1		高岡商	
九州学院	3—0		足羽	

▼同準決勝

九州学院	3—2		比叡山	
本石 権藤 2	15 15		桂 川島 0	
	7 2			
村上 田中 0	12 7		横田 保科 2	
	15 15			
権藤 2	15 15		川島 0	
	4 2			
境 0	9 7		保科 2	
	15 15			
日大山形	3—2		金沢市工	
五十嵐 須貝 2	15 15		岩本 三浦 0	
	7 7			
高橋 富塚 0	4 5		羽田 坂井 2	
	15 15			
須貝 2	15 15		三浦 0	
	2 2			
富塚 0	15 9		羽田 2	
	17 15			
新田 2	15 15		松浦 0	
	4 7			
桜井 2	15 15		坂井 0	
	10 7			



本石・権藤組（九州学院）

男子団体

九州学院、初

強豪〝日大山形〟

本石 2 (15—15 15—12 15—4) 0 横田
日大山形 3—0 会津工
五十嵐 須貝 2 (18—15 15—7) 0 渡部 渡辺
高橋 富塚 2 (15—4 7—15 15—4) 1 新田 清野
桜井 2 (15—4 15—2 12—15) 1 渡辺

▼同決勝
九州学院 3—2 日大山形
本石 権藤 2 (15—6 15—9) 0 五十嵐 須貝
村上 田中 0 (10—15 13—18) 2 高橋 富塚
権藤 2 (15—2 15—11) 0 富塚
境 0 (2—15 12—15) 2 桜井
本石 2 (15—9 15—9) 0 須貝

（九州学院は初優勝）

混沌とした優勝争いの中から、ベスト4へ勝ち名のりを挙げた各校は、ほぼ実力通りといったところか、そのベスト4へしぶとく食い下がったのは石川・金沢市立工。

羽田が単複に得点して、第3シングルスまで勝負を持ち込んで、あと一歩まで迫ったが、層の厚さを誇る日大山形に押し切られ、無念の涙を飲んだ。

毎年、団体戦に独特の強味を発揮、粘りに粘るチームカラーの金沢市立工も、今年はベスト8どまり。

その金沢市立工に、総力戦で打ち勝った日大山形は、個人戦の成績（シングルス・ベスト4に2人、ダブルス・ベスト4に2ペア）が示すように、持ち駒の豊富さは今大会随一。穴のないベストオーダーは、各校の脅威の的だった。

準決勝では、波に乗る会津工をストレートで封じ、難なく決勝進出を果たした。

日大山形に、惜しくも敗れはしたものの、初の3位入賞に輝いた会津工は、特筆に値いする大健闘。

熱狂的な地元の声援を背に、乗りに乗って名門・奈良正強、高岡商を連破し、日大山形戦でもストレートとはいえ、各試合とも手に汗握る好試合に持ち込み、会場の注目を一身に浴びた。大会一番のヒーローは、案外こちらだったといえるかも。

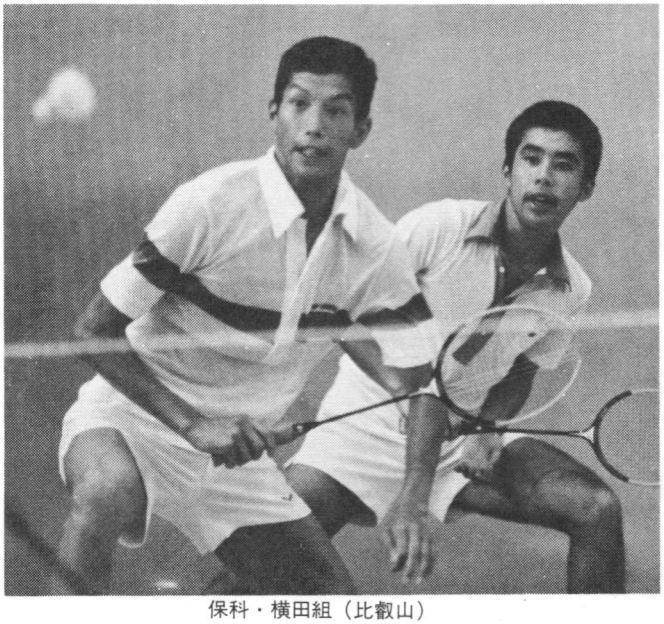
「地元の選手が活躍すると、大会が盛り上がる」ことを如実に示してくれ、その善戦ぶりは立派の一語。

比叡山、九州学院のブロックでは、これも東北にあって近年の活躍がめざましい東奥義塾が、昨年の優勝校・比叡山に肉迫して気炎を上げた。2—1とリードしながら、決定打を奪うことはできなかったが、日大山形、会津工とともに、今年の東北勢のレベルの高さを思わせた。

連続優勝を狙った比叡山は、長身の攻撃型選手をそろえ、力強い快進撃だったが、九州学院の前に野望を断たれた。選手自身が、まだ成長途上にあったようで、惜しまれる。

九州学院は、ポイントゲッターとなった本石、権藤両選手に依存する綱渡りの戦いだったが、両君が期待に応え、単複に全勝して、熊本に初の栄冠を持ち帰った。

優勝を決めた本石君の、疲労し切った体にムチ打つ掛け声が、苦戦の連続だったことを物語っていた。



保科・横田組（比叡山）

第29回全国高等学校バドミントン選手権大会

へ王手〃4連覇

青陵にアクシデント

▼女子団体3回戦

四条畷（大阪）	3	0	渋川女（群馬）
高松第一（香川）	3	1	米子西（鳥取）
藤園女（富山）	3	0	敬愛学園（秋田）
鶴鳴女（長崎）	3	2	市立一条（奈良）
熊本中女（熊本）	3	0	千葉学園（青森）
滋賀女（滋賀）	3	2	土佐女（高知）
真岡女（栃木）	3	1	金城（石川）
新潟青陵（新潟）	3	2	昭和学院（千葉）

▼同準々決勝

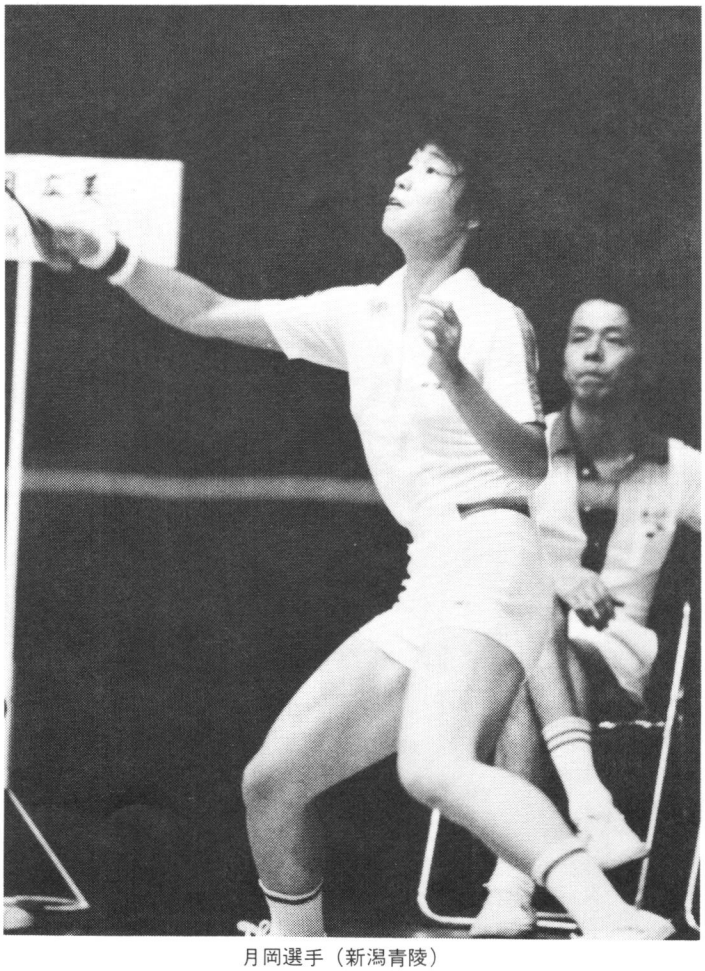
四条畷	3	0	高松第一
北田2	2	0	中川三好
富田2	1	0	中川三好
合川植田2	2	0	四宮松田
原口2	0	2	四宮鳴女
藤園女	1	3	鶴鳴女
柳田2	2	0	岡田中川
三田2	0	2	井上野口
中田2	0	2	井上野口
柳田2	0	2	岡田中川

熊本中女	3	0	滋賀女
高松 高峰彰2	2	0	榎並 立入
高峰和 川添2	2	0	井上 若村
新潟青陵	1	3	真岡女
月岡 中沢2	2	0	上野 高田康
斉藤 室橋2	0	2	海賀 高田圭
高峰彰2	2	0	榎並

▼同準決勝

中沢2	2	1	上野
斉藤2	0	2	高田
四条畷	3	1	藤園女
北田2	2	0	柳田中滝
合川植田0	0	2	三田中田

原口2	2	0	柳田
北田2	0	2	三田
熊本中女	1	3	新潟青陵
川添 高峰和0	0	2	中沢 月岡
高松 高峰彰2	0	2	斉藤 室橋
高峰和2	1	2	月岡



月岡選手（新潟青陵）

女子団体

四条畷〝記録

「今年こそ」の

▼同決勝

四条畷	3	0		熊本中女
合川	2	18—13	0	川添
北田		15—7		高峰和
植田	2	10—15	1	高松
松田		15—11		高峰彰
		15—5		
原口	2	11—5	0	川添
		11—2		

高峰彰 2 (6—11, 11—8, 11—9) 1 斉藤

（四条畷は4連勝通算7度目）

〝四条畷の4連覇なるか〟焦点はただその一つにしぼられ、試合前「今年がヤマ場だ。今年優勝できれば、善通寺一高の持つ5連勝の記録を破ることも、可能性がある」と片岡輝明監督も懸念していたほど、達成は微妙なものと思われていた。

しかし、その挑戦権を間違いなく握るものとされていた、新潟青陵にアクシデントが発生。トップダブルスの月岡選手のパートナー、朝倉選手が初戦で靱帯を痛め、欠場を余儀なくされた。

監督、選手は勿論のこと、関係者の落胆ぶりは「今年こそ、チャンスと思っていた」だけにいっそう深いものがあった。

意気消沈と動揺の交錯する新潟青陵に替って、一躍クローズアップされたのが熊本中央女。

ジュニアからの、一貫した指導で育てられた選手達によって、ついに決勝にまで進出。ようやく、多年の努力が実を結んできた。

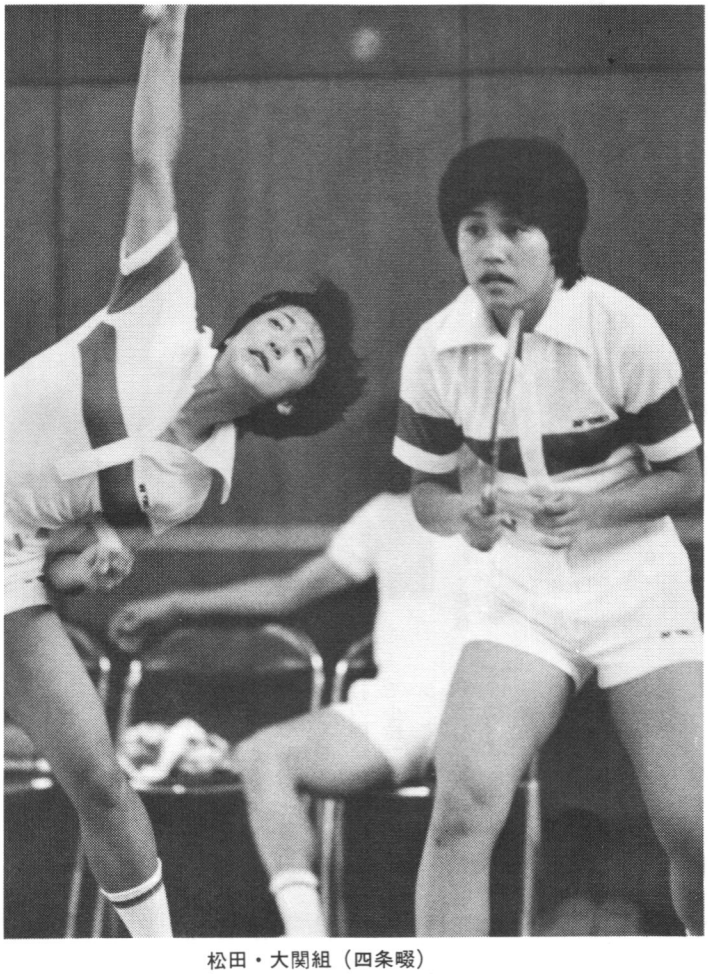
だが同県の中学生の強さから考えると多少物足りない感がしないでもない。これをステップに、さらに大きな花を咲かせてもらいたいもの。

熊本中央女のチーム力と好対照だったのが、藤園女子。

三田選手の孤軍奮闘の大活躍によって、4年ぶりにベスト4進出を決め、力いっぱいの善戦を見せた。あと一歩の層の厚さがあれば、あるいは〝打倒四条畷〟が実現したのでは、と思われるほど、力の限りを出し尽した充実感があった。

苦戦を覚悟していた四条畷は、小粒ながら全員のキビキビしたプレーは相変らず、主砲の北田選手を盛り上げるように、確実にポイントして「懸念の年」を楽に乗り切り、今年もまた新しい三冠王を誕生させ、連勝記録更新への意欲をうかがわせた。

大黒柱の北田選手が、まだ2年生であることからしても、悲願達成は、にわかに信憑（ぴょう）性を帯びてきたといえよう。



松田・大関組（四条畷）

――第29回全国高等学校バドミントン選手権大会

年生の3冠王

射撃で達成

▼男子シングルス4回戦

吉村（奈良）2―0横田（滋賀）
末坂（富山）2―0本多（福島）
蘭（福岡）2―1羽田（石川）
桜井（山形）2―0秋月（徳島）
細谷（神奈川）2―0高橋（富山）
須貝（山形）2―1伊藤（埼玉）
保科（滋賀）2―0難波（岡山）
権藤（熊本）2―0新田（福島）

▼同準々決勝

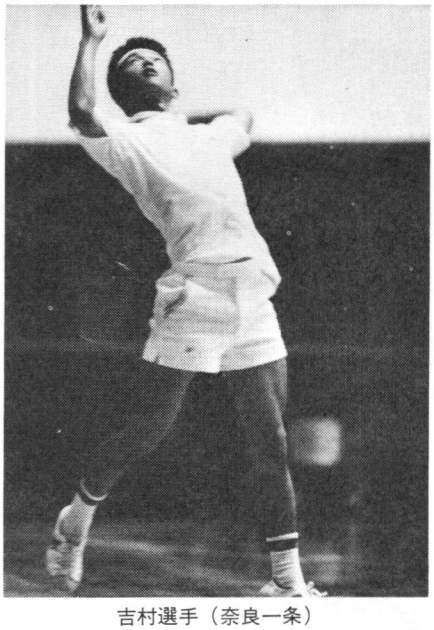
吉村2（15―0 15―4）0末坂
桜井2（15―4 15―9）0蘭
須貝2（15―6 15―5 8―15）1細谷
権藤2（15―4 15―9）0保科

▼同準々決勝

吉村2（15―4 15―9）0桜井
権藤2（15―5 15―9）0須貝

▼同決勝

権藤2（15―11 16―18 15―4）1吉村
（権藤は初優勝）



吉村選手（奈良一条）

▼同ダブルス4回戦

五十嵐・須貝（山形）2―0岡野・小西（香川）
馬場・高橋（栃木）2―1石坂・石川（岩手）
白取・高橋（青森）2―0三浦・梅沢（秋田）
吉村・乾（奈良）2―0高崎・涌井（北北海道）
渡辺・清野（福島）2―1小林・野中（三重）
本石・権藤（熊本）2―0藤本・貴田（奈良）
富塚・高橋（山形）2―0末坂・松浦（富山）

▼同準々決勝

五十嵐2（15―10 15―8）0馬場
須貝 高橋
白取2（15―8 15―2）0吉村
高橋 乾
本石2（15―6 15―1）0渡辺
権藤 清野
富塚2（15―4 15―9）0横田
高橋 保科
横田・保科（滋賀）2―1佐藤・越後（秋田）

▼同準決勝

五十嵐2（15―7 16―17 15―4）1白取
須貝 高橋
本石2（15―5 15―1）0富塚
権藤 高橋

▼同決勝

本石2（15―4 15―3）0五十嵐
権藤 須貝
（本石・権藤組は初優勝）

大会史上、初めての2年生の三冠王が誕生した。

九州学院の〝権藤浩二〟選手がその人。

過去に、岡崎恵三（現姓窪田、当時横浜緑ケ丘高）氏が、2年生でシングルスを制した例はあるが、そのときでさえ、団体、ダブルスは準優勝であった。

天才的プレーヤーであった豪打の岡崎氏に比べ、あらゆる面で小粒な感がしないではないが、シャトルに対する貪欲なまでの執着心、勝負に対す旺盛な闘争心は、見るものを圧倒する気迫に満ち溢れていた。

それでいて、一球一球、ガッツポーズでコート内を駆け回る彼の姿は、清涼感そのもの。地元関係者が「彼のひたむきな努力には、頭が下がる」という人徳も持ち合わせている。

こぼれ話

暑さにダウン

男子複1回戦は会津体育館の第1コートでのこと。線審のA君、昨晩寝冷えしてお腹の中がお祭り気分、朝食をとらずに会場に駆けつけ、すぐに試合。緊張のあまりか体力の消耗か、ゲ

男子個人

権藤クン、2

本石君の援護

試合後のインタビューに「技術、体力よりも、気力だけだと思った」というあたり、生一本な性格をのぞかせ、極端なウェスタン・グリップを固持して、頑固さもなかなかのようだ。

ひとつひとつの、真剣なプレーの積み重ね、それこそ〝ひたむきな努力〟が、彼を三冠に導いたといえそう。

三冠達成と同時に、追われる立場としての新しい苦しみが、彼に襲いかかるだろう。しかしその重圧に、耐えうるたくましさを、彼は存分に発揮してくれるに違いない。

シングルス決勝で、惜しくも涙を飲んだ吉村輝高選手は、昨年のベスト8の実績通りらくに決勝へ勝ち進み、優勝候補の筆頭らしいプレーを見せた。

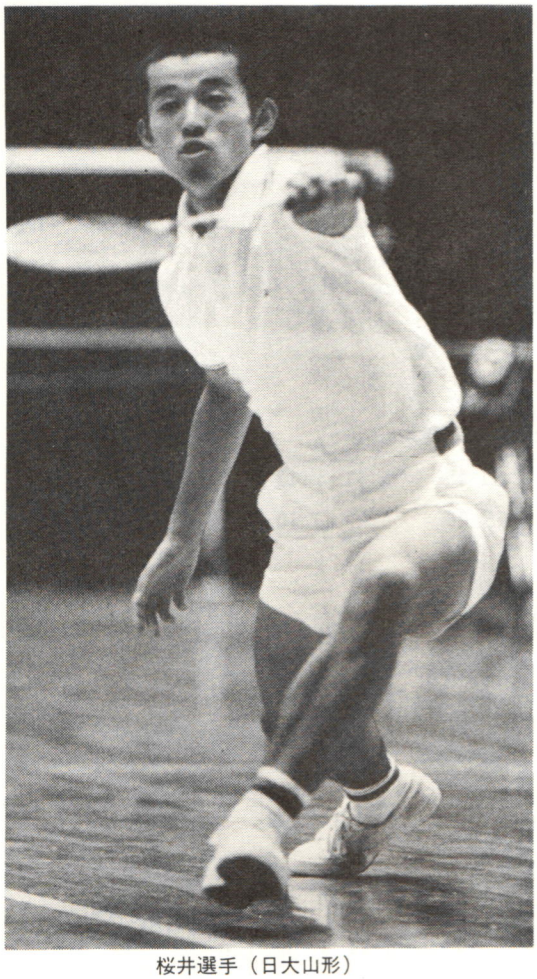
柔軟な体を駆使した、流れるような美しいフォームは群を抜いていたが、権藤君のガッツに〝マイッタ〟格好。

団体戦の勢いを、そのまま個人戦へ持ち込んだ日大山形は、シングルスではベスト4に、桜井雅人、須貝英徳選手、ダブルスでは2位に五十嵐正弘・須貝英徳選手、3位に富塚充・高橋直樹選手が入賞して大いに気を吐いた。

それぞれ疲労が激しく、優勝は逃がしたが、高校生らしい力感溢れるプレーぶり。

キビキビしたさわやかな印象を残したのは、東奥義塾の白取明人・高橋政勝選手。会津工の渡辺達・清野徹也選手。そしてシングルスの3回戦で大接戦を繰り広げた本多幸雄選手（若松商2年）（15―10、7―15、18―13）井上哲章選手（熊本商大附属1年）など。

それにしても、インターハイは技術より、体力、気力の戦いであることを裏づける、大一番の連続であった。



桜井選手（日大山形）

起死回生

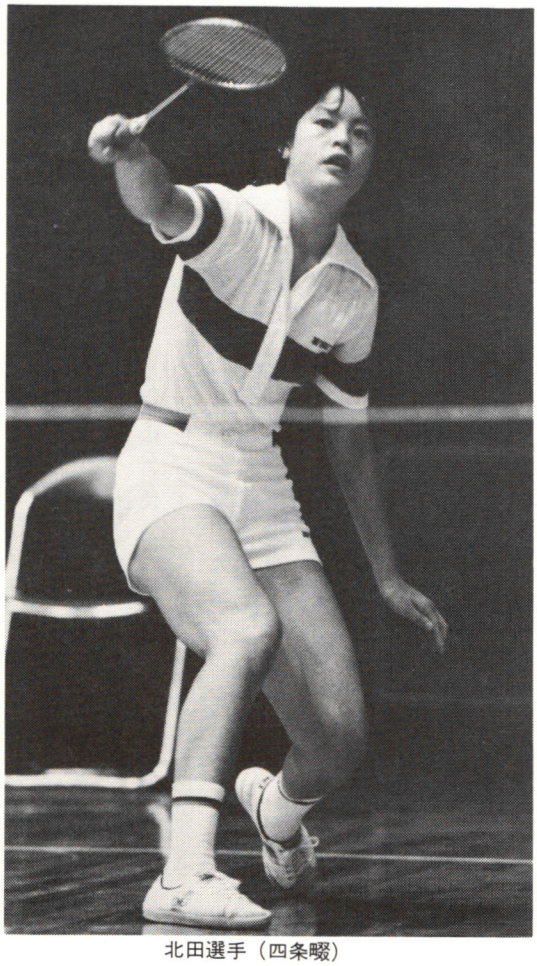
同じく男子複2回戦の第3コート、今市対瓊浦ペアの試合。第3ゲーム、今市ペア12―6でリードから、ラリーの応酬中今市のT君が自分の流した汗ですべり転倒、駄目かと思ったら上半身を起こして返球しながら立ち上がり次に備えた。瓊浦ペアは、これに対しタイミングが遅れ、やむをえずネット際にチョンと落した。T君は、これをフライングレシーブで返し、コートは再び汗で濡れた。このようにして転倒しながら返球すること四度。瓊浦の選手がネット際にやや長目のドロップを落したところ、B君がダッシュしてスマッシュ、ネットインにねじ込んで観客をハラハラさせたラリーに終止符を打った。

ーム半ばであえなくダウン。そういえば、昨日の団体戦でも第1コートでスコアラーがダウン。因縁の第1コートに審判団は戦々恐々としていたとか……？

第29回全国高等学校バドミントン選手権大会

物ぶり発揮

冠独占は7回目



北田選手（四条畷）

▼女子シングルス4回戦

原口（大阪）2—0石田（兵庫）
奥谷（奈良）2—1児玉（青森）
海賀（栃木）2—1寺田（高知）
中沢（新潟）2—0四宮（香川）
北田（大阪）2—1田村（高知）
矢田（神奈川）2—0横田（奈良）
三田（富山）2—0上野（栃木）
月岡（新潟）2—0相良（熊本）

▼同準々決勝

原口 2（11—5, 11—4, 4—11）1 奥谷
中沢 2（11—1, 11—7）0 海賀
北田 2（11—2, 11—2）0 矢田
月岡 2（11—5, 5—11, 12—10）1 三田

▼同準決勝

中沢 2（11—5, 12—10）0 原口
北田 2（11—5, 12—9）0 月岡

▼同決勝

北田 2（11—6, 11—6）0 中沢
（北田は初優勝）

▼同ダブルス4回戦

合川・北田（大阪）2—0中川・黒川（石川）
新谷・安田（富山）2—0桝田・竹川（北北海道）
岡田・中山（山形）2—1大野・平林（奈良）
上野・高田（栃木）2—0星野・菅原（南北海道）
田村・寺田（高知）2—1石田・平井（兵庫）
三田・中田（富山）2—0佐藤・中村（北北海道）
中沢・斉藤（新潟）2—0児玉・柳沼（青森）
高峰・高松（熊本）2—0横田・佐藤（奈良）

▼同準々決勝

合川・北田 2（15—3, 15—2）0 新谷・安田

こぼれ話

マンガシャツ 是？非？

男子単が行なわれている楽屋裏（役員控室）でのお話。

「敗者審判でラインズマンをする高校生の、マンガシャツをとり替えさせているのだが『当然のことだと思う。選手に端正な服装が要求される以上、審判員にも端正な服装は要求されるべきである』ただし、審判員の服装、特に敗者審判の服装については、規定は何もない」

いかがお考えですか？諸者の皆さん。

どうなってるの!?

A君、お昼近くに救護室に現われ、足が痛いことを訴え、診察をうけた。診察

女子個人

北田さん、大

四条畷の三

▼同準決勝

上野	2	15	15			0	岡田
高田		10	6				中山
三田	2	15	18	15		0	田村
中田		9	21	13			寺田
中沢	2	15	15			0	高峰
斉藤		7	8				高松
合川	2	15	9	15		1	上野
北田		2	15	5			高田
中沢	2	18	18			0	三田
斉藤		15	13				中田

▼同決勝

合川	2	15	15	15		1	中沢
北田		3	18	10			斉藤

（合川・北田組は初優勝）

男子の権藤選手と同様、女子の北田スミ子選手（四条畷）も初の2年生の三冠王。

コート外では、まだ茶目ッ気の抜け切らないような笑顔を振りまくが、長身からの打ち降ろすようなスマッシュに加え、2年生とは思えぬ試合運びは、片岡輝明監督の「次代のチャンピオンや!!」という言葉もなるほどと納得できる。

シングルス4回戦では、田村圭香選手（土佐女）に苦しめられ、ファイナル・ゲームを0―6とリードされたが、そこから立ち直って逆転するあたり、精神的にも強いところを見せた。

昨年、2年生でシングルスを制した原口恵子選手（四条畷）は、身上の軽快な粘りが出ずじまい。伸び伸びとプレーすることができず、何か重圧に押しつぶされた格好。いかにも繊細すぎるといった印象を与えた。

団体戦で夢破れた新潟青陵は、奮起して個人戦大活躍、四条畷の三冠こそ阻止することはできなかったが、面目躍如たるものがあった。

月岡広美、中沢一枝選手とも



原口選手（四条畷）

に、基本に忠実な、柔軟なフォームは華麗でさえあったが、いま一つ波に乗ることができず残念。

サウスポーでがん張ったのが三田知佳子選手。勝負強いファイター、といったタイプは女子では得難いものがある。

名門・真岡女は、ダブルス・ベスト4に、上野加代子・高田康子選手を送り込み、関東の雄の健在ぶりを見せた。

担当者の見解は、趾骨骨折のうたがい。本人は捻挫したというものの、腫れていて押すと痛がる始末。そして数時間後に再び現われて、痛みも腫れもひどくなっている様子。やむをえず、救急車で病院に運んでもらったとのこと。

奇怪なのは、その後のA君の行動であるが、もともと彼のケガは、郷里でトレーニング中にやったもの。これを監督さんに、ひた隠しにして団体戦のメンバーとして若松入りしたものの、団体戦には出ずじまい。個人戦に備えて、トレーニングする上級生と一緒に走ったために痛みが出た模様である。

さて数時間後、彼は宿舎に帰るといって病院を出たが、その際、病院で渡された薬も置きっ放し、その後の彼の行方は杳（よう）として知れない。

以上「こぼれ話」はいずれも栃木県・近藤満先生の寄稿によるものです。

STARTING BADMINTON

これから始める人へ

スターティング・バドミントン

Starting Badminton
by Judy Hashman and C.M.Jones
Japanese language serial rights arranged
with Ward Lock Ltd., London
through Tuttle-Mori Agency, Inc., Tokyo.

ジュディ・ハッシュマン、C·M·ジョーンズ共著
後藤忠弘訳、栂野尾昌一・悦子協力

3 クリアーとドロップ

1・クリアー

クリアー(注1)は本来、防御用のショットです。しかし、庭球のロブの場合同様、時に、すぐれた判断にもとづいて使われると、意外に、なかば攻撃的な武器として通用するものです。

防御的な意味でのクリアーの打ち方には四通りあります。フォアハンドからのオーバーヘッドとアンダーアーム、バックハンドでのオーバーヘッドとアンダーアームです。これらの中で最も多く使われ、しかも、威力のあるのは、フォアのオーバーヘッドです。

およそクリアーは、相手コートのバックラインあたりに、シャトルが垂直に落下するよう、高く打ち上げねばなりません。

クリアーは、主にシングルスの試合で使われますが、ダブルスでも、疲れの見えてきた相手、あるいは、後陣への移動の足さばきがまずい相手に対して用いれば、かなり効くものです。

また、シングルス、ダブルスを問わず、相手の頭上のラケットすれすれに、低い弾道で速く飛ぶ(注2)クリアーは、効果的な攻撃の武器です。もっとも、乱用してはいけません。

オーバーヘッドの場合

相手からのクリアーは、十中八、九まで、あなたのバックハンドのコーナーを深く襲ってきます。次に、たいていは、ドロップ・ショットを落し、あなたを前陣ネット近くに引っぱり出そうとするものです。

バックハンド・サイドにクリアーを打たれたら、シャセを使って後退、シャトル落下地点の下に回り込まねばなりません。そして、自分のバックハンド・サイド（つまり体の左上）でシャトルをとらえ、フォアハンドで打ち返します。

このためには、上半身、それも背中を後方に反らしながら、しかもバックサイド（左）側にできるだけ傾ける必要があります（第9図参照）。これをラウンド・ザ・ヘッド・ストローク（頭の周りをラケットが回る）といい、背中の柔軟性が要求されます。

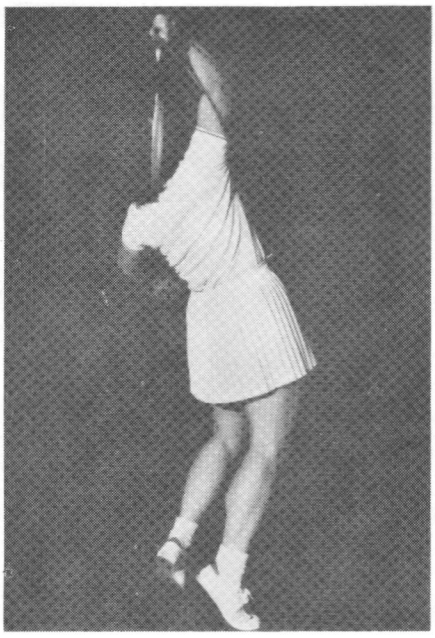
うまく打ち返したとしても、仕事はそれで終わりではありません。打ち終えたら、まずは大至急、コート中央の基地に戻る必要があります。必ず基地に戻る。しかも大急ぎで、これは絶対に大切なことですから、忘れないようにして下さい。

もし、基地より少し前陣にいるとき、バックハンドのコーナー深く、クリアを打ち込まれたら？ すぐにシャセですばやく後退（この間も、シャトルから目を離してはいけません）シャトル落下点のやや後方、飛来軌道に正対してラケットを構えます。シャトルが落ちて来て、打面に到達するまで、目を離してはいけません。

コートの広さを、実感で覚えましょう。目をつぶっていても、自分のコートのある地点から相手コートのバックバウンダリラインまでの距離が、正確にわかるようになれば、しめたものです。

こうなったあかつきには、殺人的なスマッシュ、相手をおびき寄せるドロップ、あるいは、位置を調節して、上向き軌道で全力でラケットを〝投げ出す〟クリアーなど、機に応じたショットを意のままに出来るようになりましょう。

しかし、なんといっても、クリアーは本質的に守りのショットです。下向きの軌道で、強烈なスマッシュを打ちおろせる場合に、遠慮してクリアーを打っ



第9図　ラウンド・ザ・ヘッド・ストローク。相手からのシャトルが，バックハンドのコーナー深く飛来したとき，フォアハンドで返球する。このため体を後方にそらしながら，大きく左傾し，振り上げたラケットが頭の後方を通って回り込み，左肩上方でシャトルと出会うようにする。

たりしないよう、気をつけましょう。

シャセをやって、シャトルの落下点に入ったら、できるだけ早く、打球の構えに移る必要があります。

一球前のショットの打ち終わりで、ラケットがどこに止まったにしろ、すぐさま、腕をフォアハンド・オーバーヘッドでのバック・スイング態勢に持っていき、右肘と右肩を後ろに引きながら、上に向けます。

シャトルを高々と打ち上げるには、かなりの力がいります。ですから、体のバランスの限度まで、左肩を上げ、右肩を引かねばなりません。ぎりぎり、この形になって初めて、体重をフルに乗せたオーバーヘッドのストロークが出来るのです。

左腕は単に、体のバランスをとるのに使うだけでなく、下降してくるシャトルに正しく打球の照準を合わせるために活用しましょう。

右ひじを引いて上向きにし、ラケット打面が頭の後ろ、首のあたりに付くぐらいに保ちます。シャフトは右肩の上方に、ものでもかついでいるように、軽く置きます。右手は耳の傍あたりに来ます。手首は力を抜いて折り曲げ、ラケットヘッドが、ジ

ップ・エリアでムチのように振り出される準備をします。

バック・スイングは、シャトルの下に入って、足を止めてから始めるのではありません。移動しながら、その構えに移るのです。また、バック・スイングの軌道は、向かってくるシャトルの軌道と同一線上になければなりません。上半身はピボットされ、ネットに対して横向きとなります。

バック・スイングの終わりでは、それといえぬくらい、一瞬ラケットの動きが止まった後、フォワード・スイングが開始されます。バック・スイングで肩、肘、ラケットの位置どりが正しければ、フォワード・スイングも、いわば自動的に正しく、行われるはずです。

フォワード・スイングのコースによって、飛んで行くシャトルのコース（方角）が決まります。インパクト後も、ラケットヘッドの動きは休むことなく、仰角に上がったシャトルを、同じ軌道で追いかけるように、フォロースルーに入ります。フォワード・スイングの始めから、フォロースルーを終わるまで、ラケット・ヘッドはよどみなく振られなければなりません。

打球に向かって、両肩を前方に投げ出すようにすることのほか、もう一つ、注意しなければならないのはひじの使い方です。ひじはインパクトの時、きちんと伸びていなければなりません。真っすぐ伸ばし、最も高い打点でシャトルをとらえましょう。

ラケットの打面は斜め上を向き、シャトルがインパクト後、いったん上昇できるように保ちます。どのぐらい高く、また、どのくらい遠くまでシャトルが飛ぶかは、打球――上昇したのち、一定の高さを保ち続けていく――に加えられた力の強さによって決まります。

ストロークの問題にかまけて基地に戻るための注意を、お留守にしてはいけません。早く打球の構えに入ること、そして、そのため、早く位置どりをすることの重要性は、何度、念を押しても、押しすぎではありません。この二つは、からみ合って一緒に進行するのです。

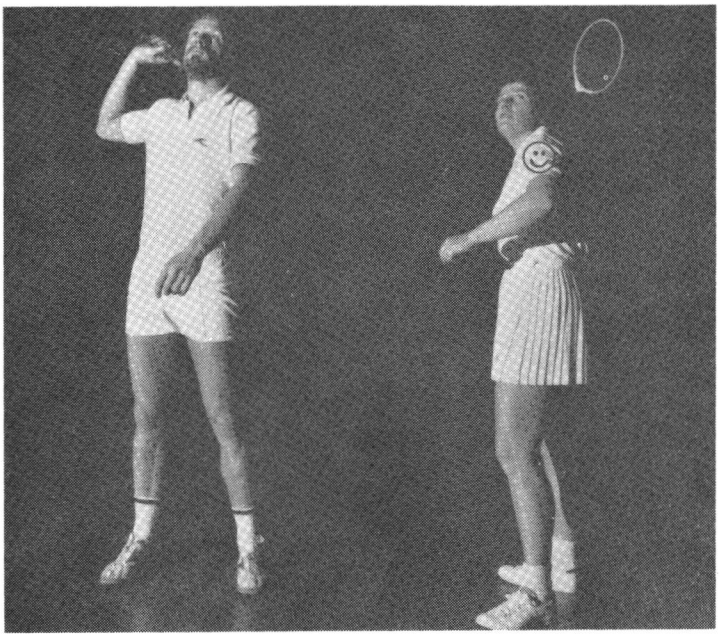
ところで、打球の一瞬、足をうしろに動かしたりしてはいけません。現実には、まま、あることですが……。そんなことにならないようにするには、ストロークのさい、思い切って上半身と足を使い、体を前方、上向きに投げ出すことです。

正しく構えれば、ドロップの時も、スマッシュの時も、体重のかけ方、体の位置は全く同じになります。クリアーでしかるべきフライトの高さと深さを確保するには、重心を体の前方に移すことが最も大切です。腕の力だけでは、効果的なクリアーは打てません。

アンダーアームの場合

アンダーアーム・クリアーは、ネットにごく近い所で使われるショットです。相手がドロップを打ってきて、そのフライトが短く、ネットすれすれに落ちてきた場合に、こちらもドロップで返球をあえてすれば、待ち構えた相手に、手ひどい一撃をくらいかねない場合が、しばしばあります。そんな時に、アンダーアームでクリアーを使うのです。

ドロップを迎え撃つ場合は、左足を前方、シャトル落下点に向けて、大きく踏み出します。バック・スイングの要領は、野球投手の下手投げと同じですが手首は十分にコックします。手のコブシは上向き、てのひら側は下を向きます。バック・スイ



第10図　〝ニコちゃん〟の絵をかき，左肩下，この腕の上方にはりつける。オーバーヘッドでクリアーを打った場合，バック・スイングでの位置どりが正しければ，相手方にこのニコちゃんの絵が，まっすぐに見える（図右）。初心者は往々にして左側の男性のようにネットに正対した形でかまえてしまう。

ングの方向は、下降してくるシャトルの軌道の延長上になければなりません。

フォワード・スイングは、最初、下向きに前進、それから急激に上昇軌道をえがきます。手首をきゅっと戻し（スナップ）ジップ・エリアで、ラケットヘッドにスピードとパワーを加えます。インパクト後、ジップ・エリアを通り抜けたあとは、手首が腕、肘に先行し、上半身の前方を横切って、斜めに上昇します。手首の上昇に引っ張られて、ひじが止むなく曲がり、自然にスイングが終結します。

シャトルをとらえる直前、腰を回し、インパクトの時、両肩がネットを向くようにします。ただし、両足は動かしてはいけません。足が動くのは、ストローク後、出していた左足をひっこめて、基地に戻す時だけです。

腰の回転と手首の戻し（スナップ）が同調して行われれば、インパクトでラケットヘッドのスピードは最高となります。アンダーアームから、相手のバックライン深くクリアーを打ち返すには、非常に力がいります。ですから、このストロークで使われるあらゆる要素を動員して、パワーを集めるようにしなければなりません。

シャトルを打ち抜くつもりでスイングし、フォロースルーで飛んでいくシャトルを追跡します。これらの動作は、意識してやる必要があります。

アンダーアームの場合、フォワード・スイングの軌道を、そのまま前に進めてラケットを振るよりは、シャトルの軌道を横切って、斜めに振る方が、ずっと簡単です。しかし、打面がシャトルに直角に当たらず、横打ちになると、パワーも正確さも半減します。

ランジングして、足を大きく前方に踏み出すと、体の重心が前にかかるので、バランスをとるため、右腕（利き腕）を後方に突き出すことが必要になってきます。アンダーアームのストロークに入るときは、このことを頭に入れて、動きながら構えをつくるようにしなければなりません。

フォアハンドでのストロークの場合は、ランジングで、左足を前に踏み出します。同様、もっと大切なのは、バックハンドでは、逆に右足を前に踏み出すということです。

こうすると、体はバックハンド側のサイドラインを向くことになります。この構えをもう少し強め、上半身を左へひねり、右腕も左へ回して、自分の胸を抱くようにします。シャトル（ネット）の方に、半分、背中を向けることになります。

この〝巻きつき〟バック・スイングも、落下してくるシャトルと同じ方向に引かれなければなりません。巻きつきを振りほどくところから、フォワード・スイングが始まります。

上半身を、さっきと逆に回し腕の振り出しと手首の返し（フォアの場合とは反対に、最初に内側、つまり、てのひら側に曲げておき、外側に振り出す）を協応させて、シャトルをとらえに向います。

フォロースルーは、バック・スイングに始まるストロークの自然な流れの続きとして、よどみなく行われねばなりません。フォロースルーは、それだけが独立したスイングではなく、それがなければ完成しないストロークの、必要欠くべからざる部分なのです。

シャトルが打たれ、打面を離れ始めたら、ラケットはフォロースルーで、シャトルの軌道を追跡します。

ランジングして片足を踏み出すと、必然的に体が低くなります。練習を積んで、前足のヒザを十二分に曲げ、胸をヒザに付くぐらいにしましょう。しかしヒザが硬いと、ヒザを曲げる代わりに、腰を折り、目からラケットまでの距離が遠くなります。

このような場合、正しい軌道を通ってスイングが行われず、インパクトで、ラケットが斜めにシャトルに当たる恐れがあります。そうだと、打球のタイミングが難かしくなり、打球の距離かコース、時にはその両方で狂いを生じます。

（注1）本書の著者は、最後まで単に「クリアー」としか

いっていないが、これは日本でいう「ハイクリアー」を指している。

（注2）ここで引用されているクリアーは、いわゆる「ドリブン・クリアー」。外人はドリブン・クリアーを「ドライブ・クリアー」とも表現する。

2・ドロップショット

お互いの技術水準がどの程度であるにしろ、力量の釣り合ったもの同士の試合では、クリアー（時によってはスマッシュ）を何本も続けると、自滅のもとになりかねません。ペースに変化を持たせることが必要です。オーバーヘッドでのプレーでいえば、その〝変化〟に当たるショットがドロップです。

ずっと高度なレベルの試合では、ドロップ・ショットにも種種の応用技術（変化技）が見られますが、それらも、もともとは基本のショットから派生しているわけですから、まずは、そのイロハをしっかり身につけねばなりません。

このショットのラケットの振り方は、基本的にはスマッシュの場合と同じです。ストローク全体は、構えに入り、ラケットを引き、振り出し、フォロースルーする、という四つの部分から成っています。

相手のクリアーがこちらに向かって来たら、シャセして、出来ればスマッシュを打ち返すつもりで、シャトルの落下点に移動しましょう。ラケットを上げ、左肩の後方に引きます。もちろん、ラケットは、飛来するシャトルのコースと同一線上に引かれなければなりません。

相手の位置どり、いまのラリーの中で打った自分の球種やコースのことを頭から離さず、シャトルからも目を離さないようにします。

すばやく、スマッシュの可能な位置に動き、しかし、この際はドロップを打つのがよいと判断したら、上半身を、ほんの心持ち前方に傾け、シャトルとラケットが出合う場所が、鼻の真上あたりになるようにします。

フォワード・スイングは、スマッシュの場合と同じように、しかし、振りのスピードをぐっと落として進めます。それは、シャトルがネットを軽く越えて（相手がレシーブ出来なければ）せいぜいネットから30センチかそこらの所に落ちるようにするためです。

スピードをゆるめたスイングで間に合うからといっても、フォロースルーがいらないわけではありません。やはり、フライトのコースを追って、フォロースルーはしなければならないのです。

ドロップは、インパクトで軽打すればよいのですが、ストローク自体は、もちろん、しっかり行われなければならず、リズミカルに流れるフォロースルーを要求します。

ドロップは、いわば〝安全パイ〟のようなものでありながら、攻撃的なショットであるともいえます。

ジップ・エリアを通るスイングの速度が遅いと、フォロースルーはひとりでに短くなります。でも、短かくとも、一つのストロークを完成させるために、欠けてはならない要素であることに変わりありません。

ドロップは軟打のショットです。このため正しいフットワーク、正しい位置どり、正しいスイングなどが、それほど大切ではない、と考えられがちです。

しかし、これは全く逆です。実際、よいショットと悪いショットは、ほんのちょっとした違い（正しい理論に忠実であったかどうか）から生まれます。それゆえ、正しいテクニックを身につけることは、ドロップの場合、ことに大切です。

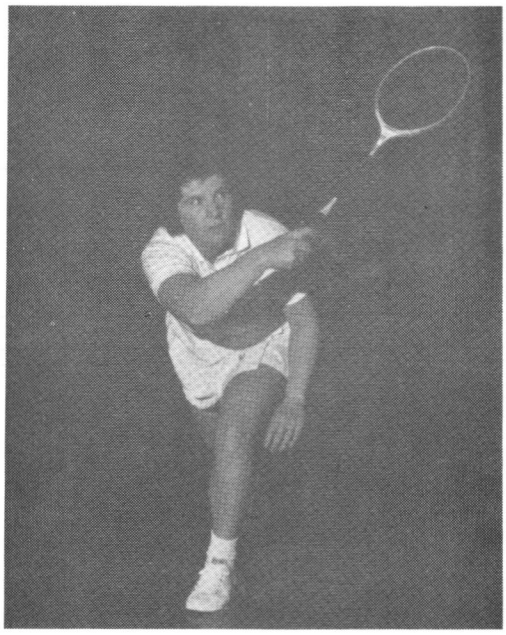
クリアーの練習

クリアーは、ウォーミングアップのさいの乱打の中で、最もひんぱんにやりとりされるシャトルです。そのため、自然に練習が積まれることになる、ともいえます。

けれども、このような場合のシャトルのやりとりは、実戦の中でラリーされるものとは、質的に違います。クリアー上達のためには、意図的に別の練習が必要になってきます。

第12図を見て下さい。この練習には、サービスのうまい人に相手になってもらいます。コート図の中で、点線のマルで囲ったYがあなたで、反対コートのPはあなたのパートナー（相手役）です。

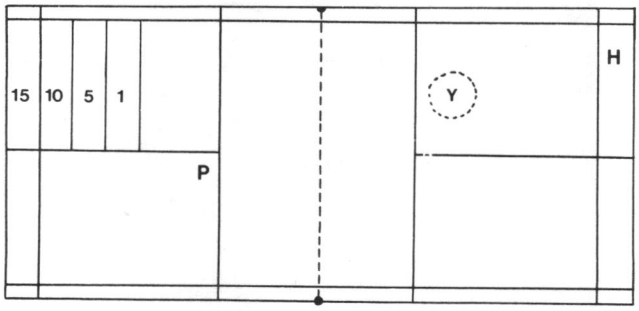
さて、Pはシャトルを一度に6個持ち、それを一定の間隔で



第11図　アンダーアームでのフォアハンドのクリアー。最大限に体を伸ばした姿勢で打つ時は手首の力強い返しが必要だ。写真はラケットがインパクト後のジップ・エリア終点に来たところ。ラケットはまだ上昇中で，目は飛び去るシャトルを追っているが，頭も上半身も，まだ持ち上がってはいない。左足は力強く前に突き出されており，基地に戻るとき，ヒザの十分な反動を利用しやすくしている。

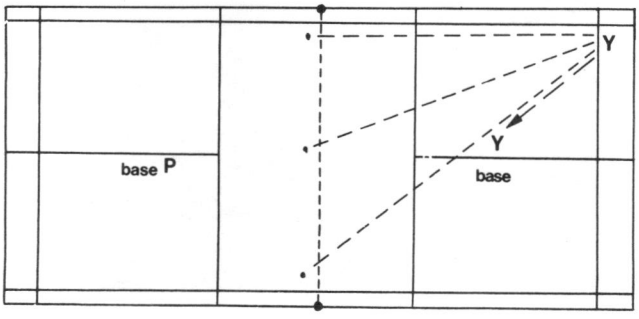
次々に打ち出して（ロング・ハイ・サービスをする）1個のシャトルでラリーを続けたと同じタイミング・テンポの効果を出します。

Yは、いったんH点まで後退して、これをクリアーで打ち返します。打ち返すマトは、反対コートで、数字の並んでいる場所です。数字は点数を意味し、シャトルが1の中に落ちたら1点15に入ったら15点もらえます。



第12図

どれだけうまくクリアーできたかは、点数合計で判断します。6個のシャトル全部が15点帯に落ちれば90点がとれるわけですね。ただし、Yがショットごとに、きちんと基地に帰らない場合は、事前に点数を決めておいて、その分、減点します。したがって、計算は、出来れば第三者（指導者）にやってもらうとよいでしょう。



第13図

ドロップの練習

第13図を見て下さい。この練習にも相手役が必要です。

PはYのフォアハンド・コーナー深く、ロング・ハイ・サービスを打ち込みます。Yはオーバーヘッドから、ネット至近の任意の地点に、ドロップ・ショットを落し返します。

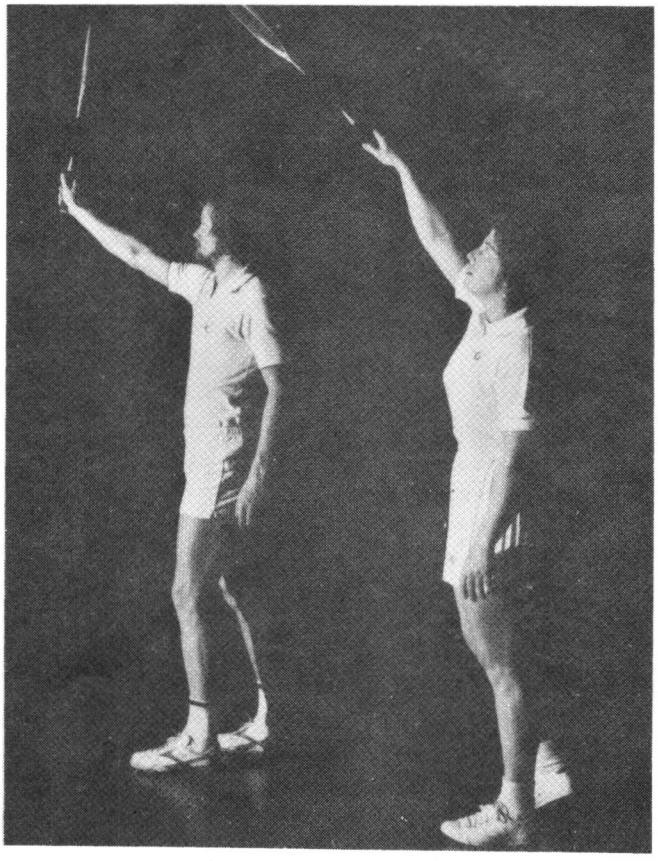
打ったらすぐさま、基地（ベースと書いてある）へ戻ります。Pは次に、そのドロップをネット・ショットで切り返して来ますので、そうさせる前に、Yは必ず基地に帰り着いているようにします。ただし、ここまでで（3球）ラリーの一区切りとします。

お互いのショットが、かなり下手くそなものであっても、なんとか努力して、所定のラリーを成立させるようにします。この練習の中で一番大事なのは、Yが基地に早く戻ることです。条件反射的に行動できるようになるまで、練習を繰り返しましょう。

ドロップの練習で指導者が注意すること

サーブを打った後、Pもすばやく自分の基地に入り、警戒十分な待球姿勢をとるかどうかに

第14図　オーバーヘッド（フォアハンド）でのドロップ・ショット。右側女性のように，インパクト後も手首は深く折り曲げられず，腕のつけ根からラケットヘッドまでが，一本の直線に近い形でフォロースルーされる。左側男性のように，ラケットを立てて押し出すようにしてはいけない。



注意して下さい。両ヒザは少し曲げて、体重を前方にかけ、ラケットを立てて持ち、Yがリターン・ショットを打った瞬間、動き出せるようになっていなければなりません。

次に、すぐさま、目をYの方に移して下さい。彼の足の運び（スキップ・ステップを使うのです）が正しいかどうか、その足で、ドロップ後ただちに基地に戻るかどうか、チェックして下さい。

ドロップのあとのフォロースルーは軽く、やわらかく行われねばなりません。フォロースルーでは、ラケットヘッドの方が腕よりも先行して下降に向うよう指導して下さい。（第14図参照のこと）

再び、目をP選手に戻して下さい。Yの打ったドロップがネットを越した瞬間（越した後、ではない）Pがすばやくラケットを出して切り返すかどうかがポイントです。

Pが安定してこのネット・ショットを打てるようになったら次に、片足を、ショート・サービス・ライン越しに、前に大きく踏み出す（ランジング）ことを覚えます。ライン前方を〝サービスの海〟と名付けます。ラインを越していいのは片足だけということを、お忘れなく。両足を〝海〟に入れたら、おぼれてしまいます。

初心者にとっては、本項で扱ったようなラリーでも、むずかしく感じるものです。現実にやりとりされるショットは、ひょっとすると、お粗末を絵にかいたようなものであるかもしれません。ここが我慢のしどころ、と教え励ましてやって下さい。千里の道も一歩から始まるのです。

練習にハリを持たせるためにラリー中、ミスしたら、なんでも1点に数え、さきに10点になった方が、このゲーム負け、というような工夫は、いかがでしょうか。

記者紹介

後藤忠弘（ごとうただひろ）昭和7年、山形生れ、慶応義塾大学英文科出、東京新聞運動部次長。『バドミントン界』初代編集長。昭和46年2月―52年2月、日本バドミントン協会理事（広報、出版）。

バドミントン訳書に『K・クロスリー著・バドミントン競技入門』（ベースボールマガジン社）がある。

バドミントン・ワールド'79

予約受付中

本誌別冊

1979年版カレンダー

●B3判（本誌の4倍大）
●金具綴じ・表紙とも7ページ
●カラー6ページ
●収録選手＝銭谷欽治、飯野佳孝、土田証雄、長谷川博幸、湯木博恵、近藤小織、徳田敦子、高田幹子、植野恵美子、米倉よし子

予約シメキリ＝10月31日（消印有効）

予約特価＝1000円 送料サービス

お申込みは本誌巻末とじ込みの振替用紙で！

バドミントン界編集部

われらのクラブ⑭

熱意は人一倍 誰か練習場を教えて!!

三宿バドミントン・クラブ

私たちが練習している場所は、満足に1面のコートもとれません。バック・バウンダリー・ラインが壁の上を這っている状態です。つまり寸足らずなのです。

ここでラケットを操るには、かなり高度な技術を要します。試合の最中に、調子に乗ってドライブを打っても、相手が身をかわすと壁に当たってアウトになったり、5メートルにも満たない天井を相手に、ハイ・クリアーの練習をしなければなりません。

当然、フォームは小さくなって、たまに立派な体育館へ行くと、その広さに圧倒される始末です。

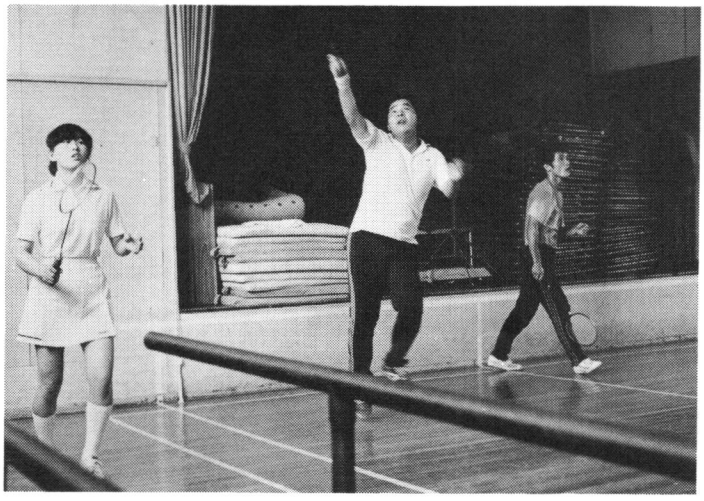
でもなぜか愛着を感じる私たちのコート、週2回の練習日には、ラケット片手に駆けつけた部員で大にぎわいになるのです。

＊　＊　＊

世田谷公園の隣りに位置する自衛隊の三宿駐屯地に、自衛隊中央病院付属の小さな補導所があり、そこに毎週火・金曜の両日、課外に集まるバドミントンの愛好者がいます。

駐屯地内にある高等看護学院の若いナースの卵たち、診療放射線技師養成所の学生、臨床検査技師課程の学生、OB、病院の職員等で構成する総勢29名の「三宿バドミントン・クラブ」の面々であります。

20歳前の若いナースの卵たちから、30歳を越す、自称〝若者〟まで、それぞれストレスの解消、体力の維持、勉強疲れの気分転換、美容、チャンピオン杯のためと、さまざまな目的を持って楽しくさわやかな汗を流しています。約10名の入部者がいますが、そのほとんどが初心者でありスタートは同じはずなのに、3年後には必ずといっていいほど、女性陣の実力が目立ってくるのが我部の特徴なのです。しかし肩身の狭い思いをしてきた男性陣に、この4月から新キャプテンとして高岡見次君（臨検学生）を迎え、彼の指導のもとジンクス粉砕を狙う（?）男たちの気迫を感



後方のラインをごらんください

じるようになってきました。

＊　＊　＊

団結は岩よりも固く、兄弟のように仲がよく、和気あいあいの中にも厳しさのある素晴らしいクラブと自負している我部のたったひとつの悩み――それは幅10メートル、奥行12メートルというコートを1面もとれない練習場にあります。

小さな箱の中で、約30名の部員が一度に羽根を打つことは不可能です。6～8人のローテーション方式で各人約20分間を屋内で打ち、残りの時間は空地、道路を利用してフットワークや素振りをする練習方法、高岡キャプテン誕生以来、狭ければ狭いなりの練習方法ということで味が出てきてはいるのですが、このスペースでは限界があります。

週に1度でいいから、思い切りクリアーを打ちスマッシュを打ちたい、というのが部員の偽わらざる心境なのです。

そこで、ここでお願いしたいのです。もし東京・池尻あたりでこの悩みの相談に応じてくださる方がいらっしゃいましたら、ぜひご一報ください。

練習熱心な者ばかり、楽しく、仲よく、そして厳しくをスローガンの「三宿バドミントン・クラブ」をどうかよろしく!!

連絡先・☎411・0151
㊥222（昼）・238（夜）
池井戸（イケイド）宛



全員、兄弟のような仲の良さ

屋外のトレーニングが主体です



ファッショナブル・スポーツ——バドミントン。

厳選された豊富さでお応えいたします。 BADMINTON

ファッション性とスポーツ性——この2つをより合わせ持つファッショナブル・スポーツーバドミントンの感覚を肌で感じにいらっしゃいませんか——！

色あざやかにそして機能性も豊かなウェアやバッグなど——バドミントンのすべてが常にフレッシュな状態でスタンバイ。

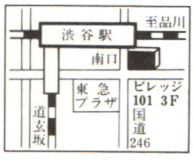
日本最大の専門店 **ウインザー ラケットショップ。**

毎月曜日定休・祝祭日を除く

渋谷店

東京都渋谷区桜ヶ丘町1-7(ビレッジ101ビル3階) TEL03-464-9251~2 〒150

●営業時間／午前10時~午後7時30分





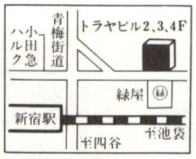


毎月曜日定休・祝祭日を除く

新宿店

東京都新宿区西新宿7-10-20(トラヤビル2,3,4階緑屋前) TEL03-363-6848 〒160

●●●営業時間／午前10時~午後7時







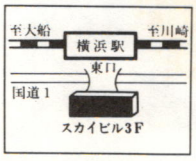
年中無休

横浜店

横浜市西区高島町2-1 横浜駅東口

(スカイビル3階) TEL045-461-1785 〒220

●●●営業時間／午前10時~午後8時

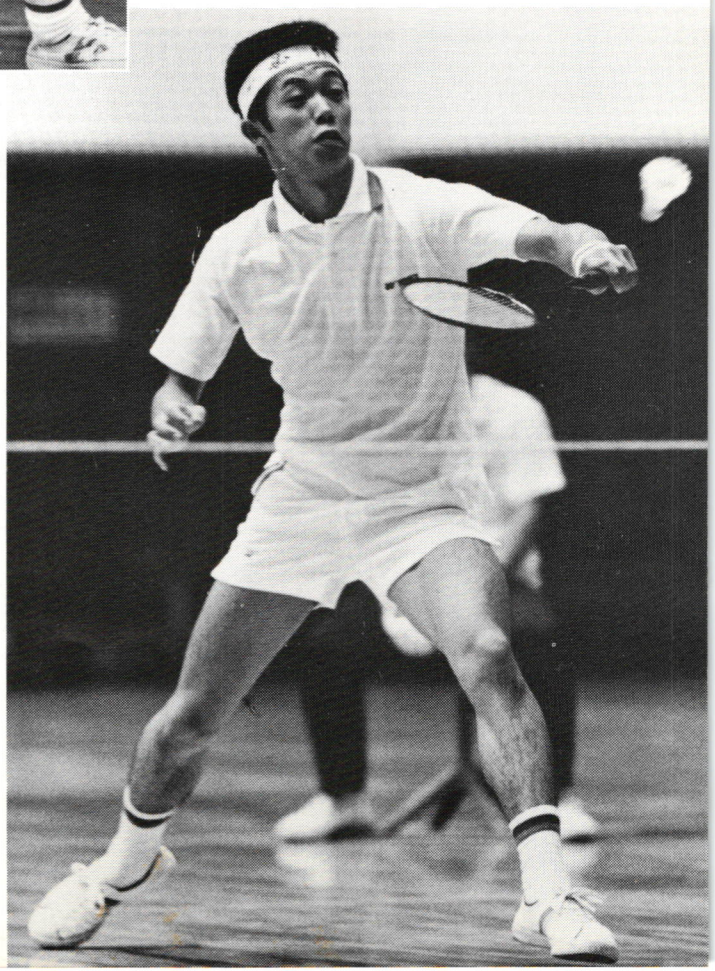


WINDSOR RACKET SHOP

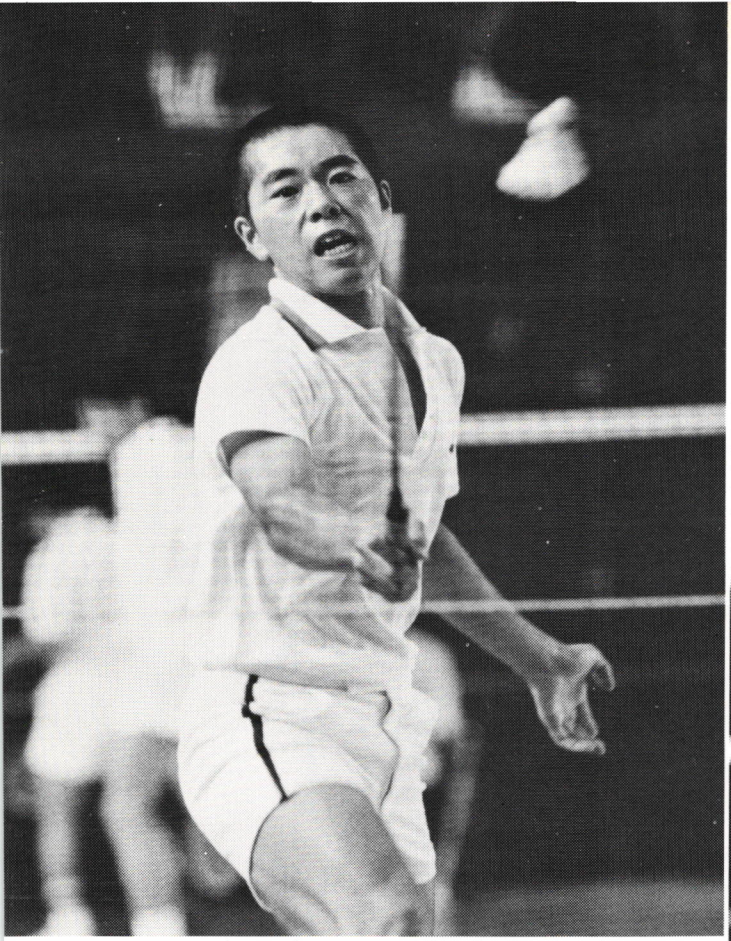
第29回 インターハイから



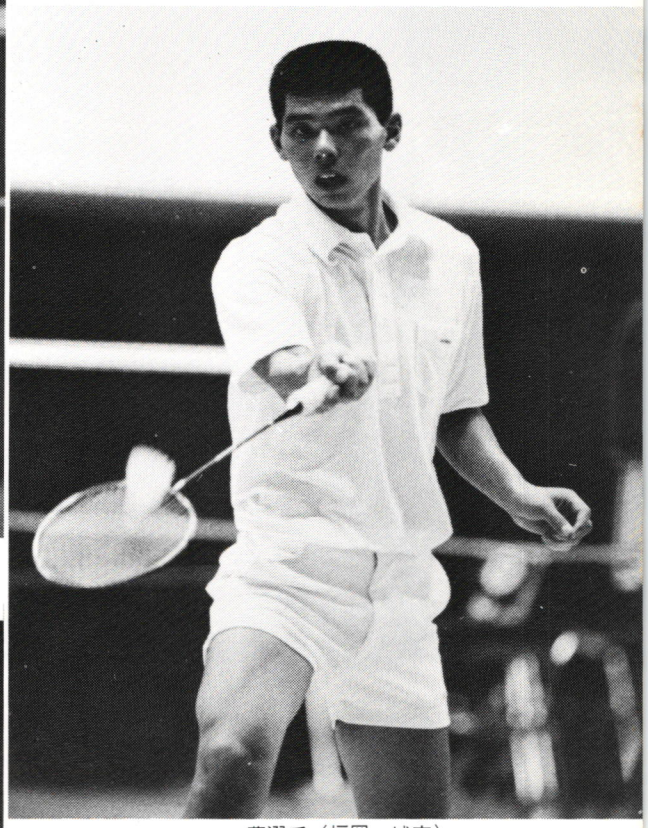
〝三冠王〟権藤選手（九州学院）



シングルス2位・吉村選手（奈良一条）

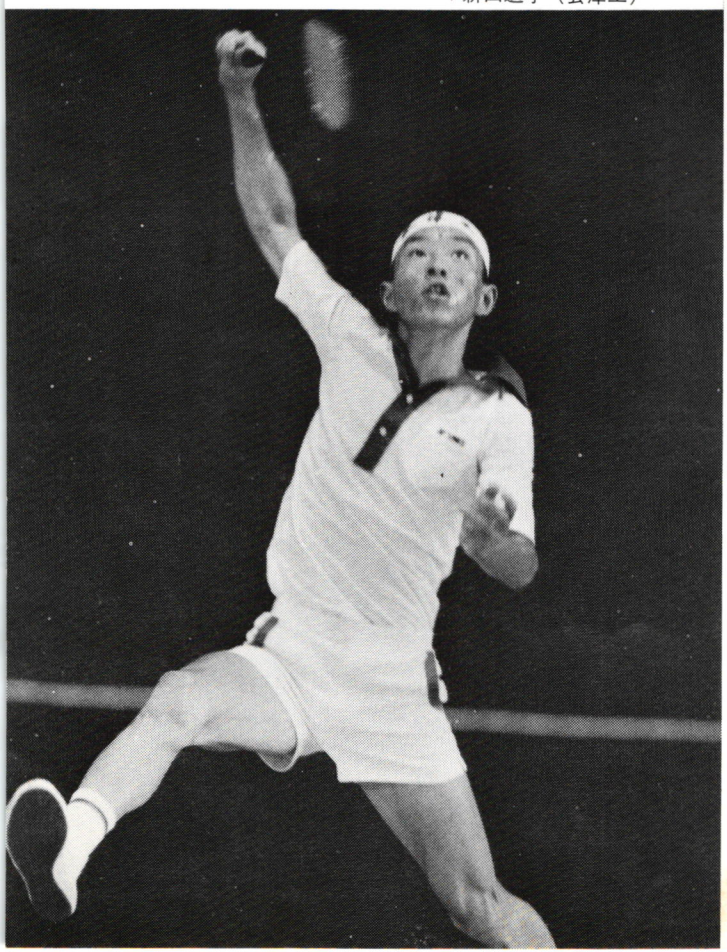


▲鈴木選手（吉原工）



蘭選手（福岡・城南）

▼新田選手（会津工）





着るもよし。持つもよし。こちらヨネックス感覚。

機能をつきつめたものは美しい。ヨネックスはこの考えを基にして、たくさんのスポーツウエアをおとどけしています。白を基調に、ヨネックスのシンボルカラーであるブルー＆グリーンをアクセントにしたもの、そのほかシャレた色づかいのものなど、種類もサイズも豊富です。年齢や性別をこえ、国境をこえて、トッププレイヤー達の身をつつんでいます。またスポーツバッグにしても、細かい親切設計でデザインされています。同じ型でありながら一週間用、4～5日用、1～2日用など大・中・小とそろえたり、多目的に使えるものもあったりで、選ぶ楽しさじゅうぶん。色は白が中心ですが、濃緑、濃紺、茶などいろいろあります。さて、スポーツシューズもヨネックスの自慢。靴底が機能的な設計ですから、フットワークが生きてきます。スポーツをサイエンスの目でとらえ、そして美しい形を仕上げる芸当。これぞヨネックス感覚です。

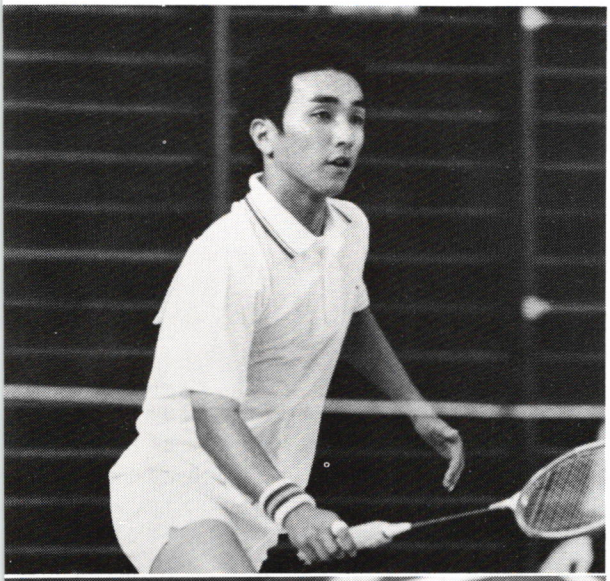
YONEX®



本多選手（若松商）



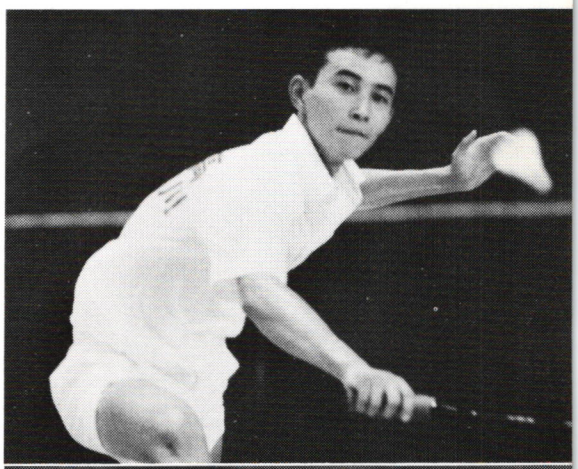
小野口選手（今市）



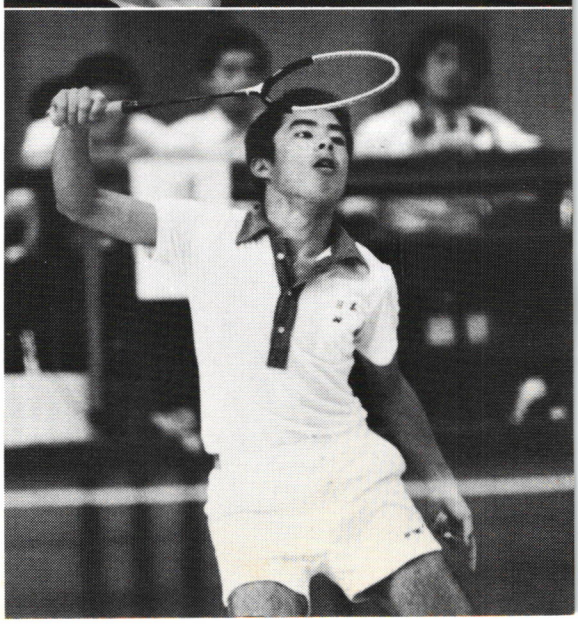
難波選手（水島工）



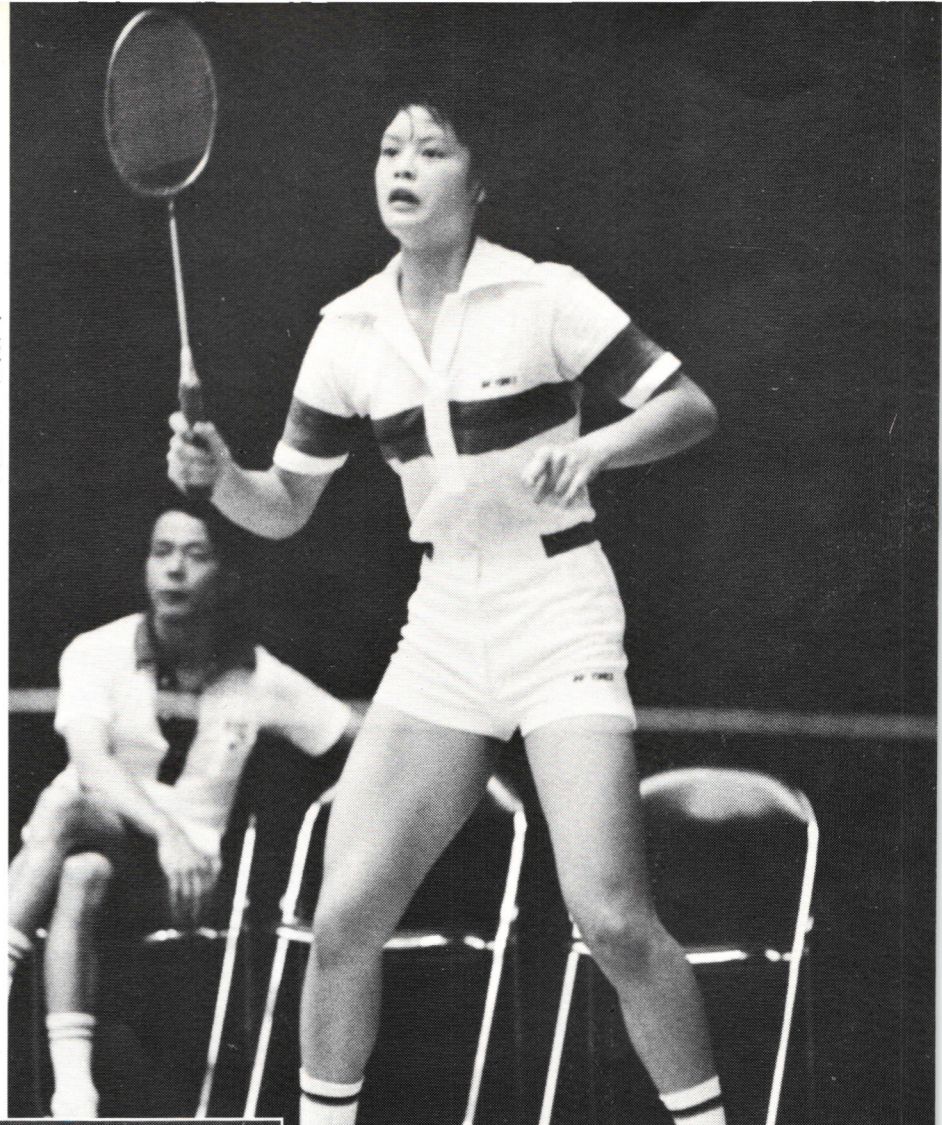
スカウトの目が光る



細谷選手（日大高）

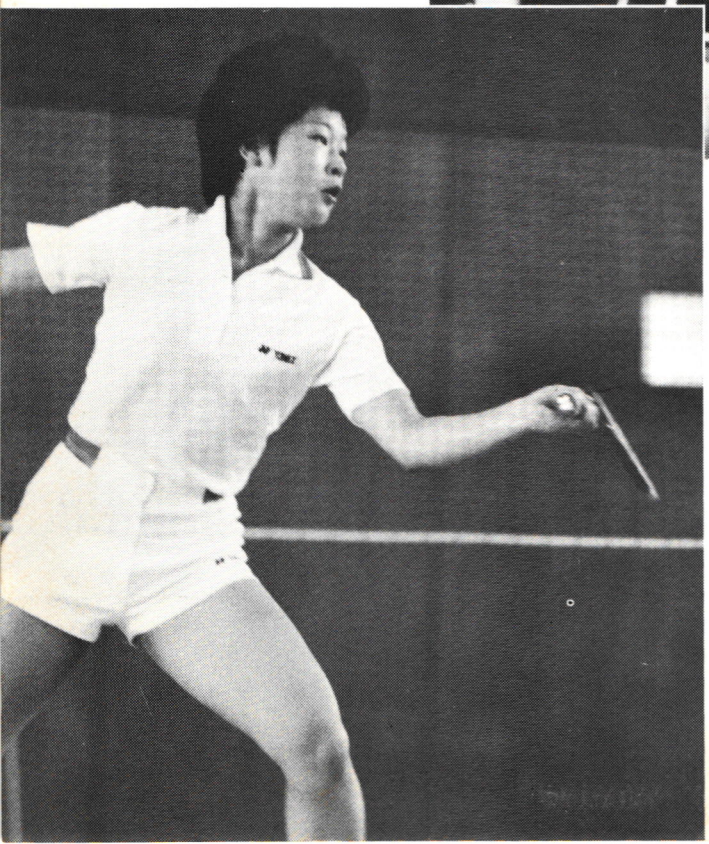


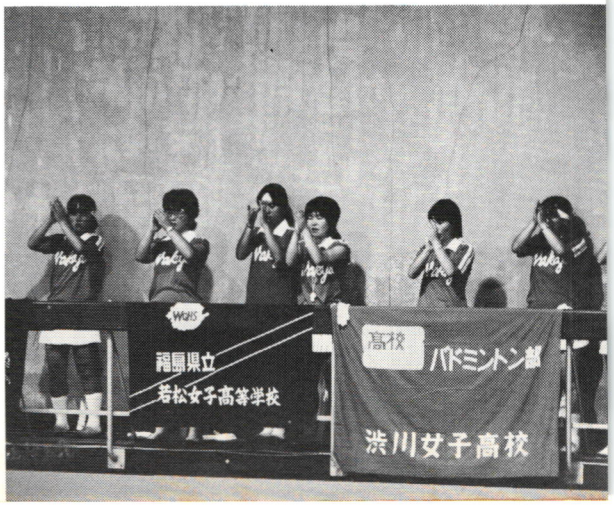
保科選手（比叡山）



〝三冠王〟北田選手

三田選手（藤園）



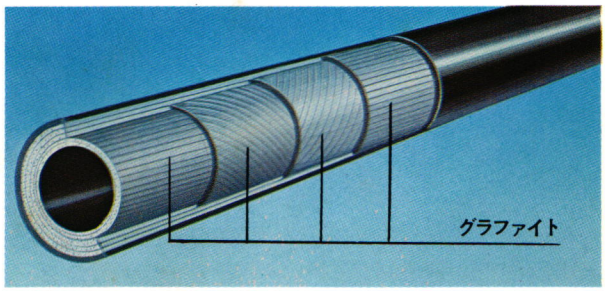


▶整然とした地元の応援

E RACKET

世界初の100%
グラファイトシャフト

画期的なものを生むためには冒険が必要です。B－82・B-80もこの例にもれません。グラファイトファイバー繊維は異方性にとむ性質で、配列しだいでは性能が大きく変わります。カワサキはこの難問を独特のクロス加工で解消。方向の異なるグラファイト繊維を4層に重ね合わせ、素材のもつ特性を最大限に引き出しました。これこそ世界が待ち望んでいた理想のラケット。スチールパイプにカーボンをまきつけただけというラケットとは威力が違います。この完成度の高さはカワサキならではのもの。



kawasaki
河崎ラケット工業株式会社

AFT

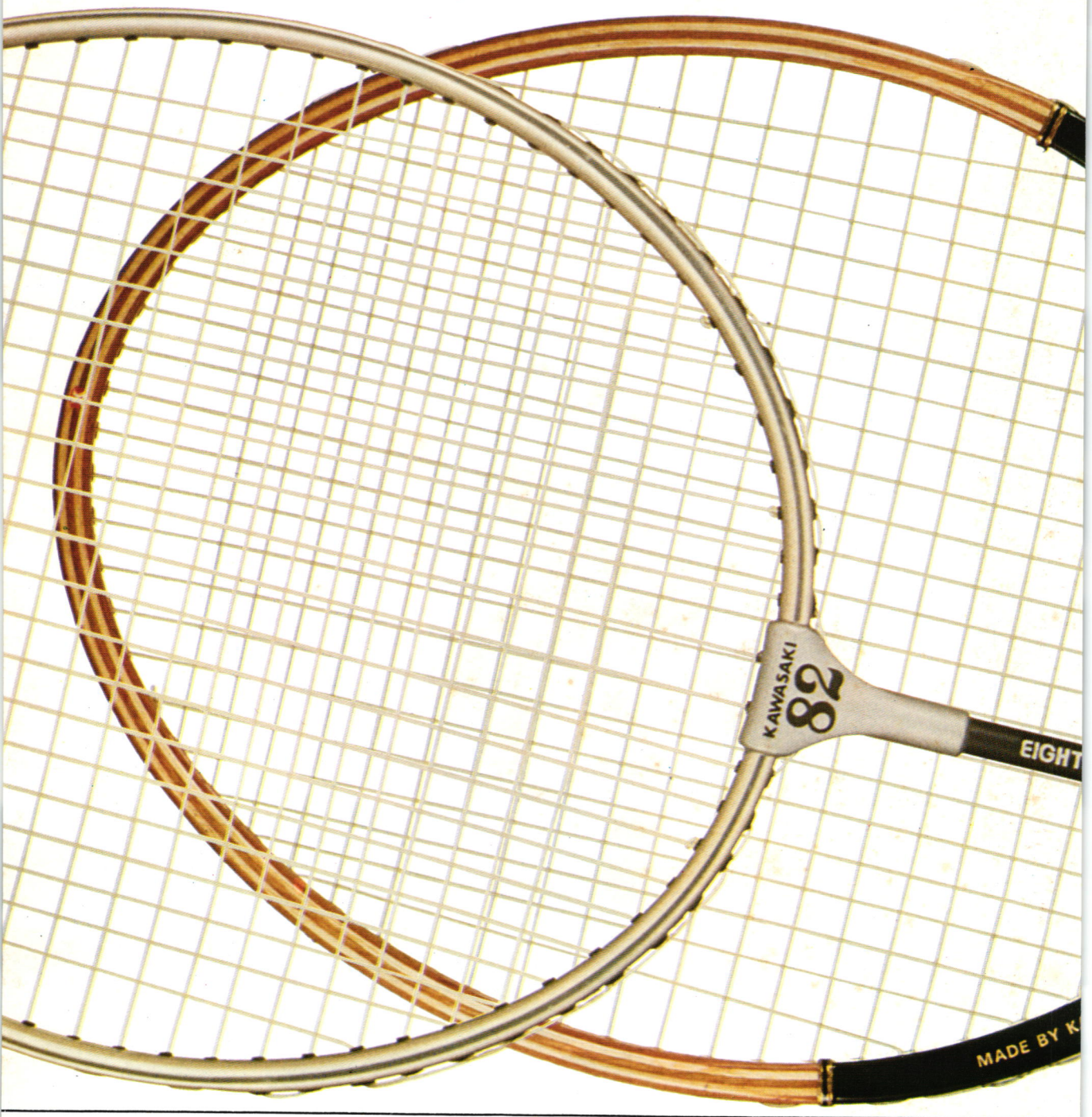
B-82

グラファイトシャフト アルミフレーム シルバー(ケース付)
フレーム価格8,000円 ガット張り上り価格8,700円

B-80

グラファイトシャフト ウッドフレーム 黒(ケース付)
フレーム価格7,700円 ガット張り上り価格8,400円

GRAPHIT

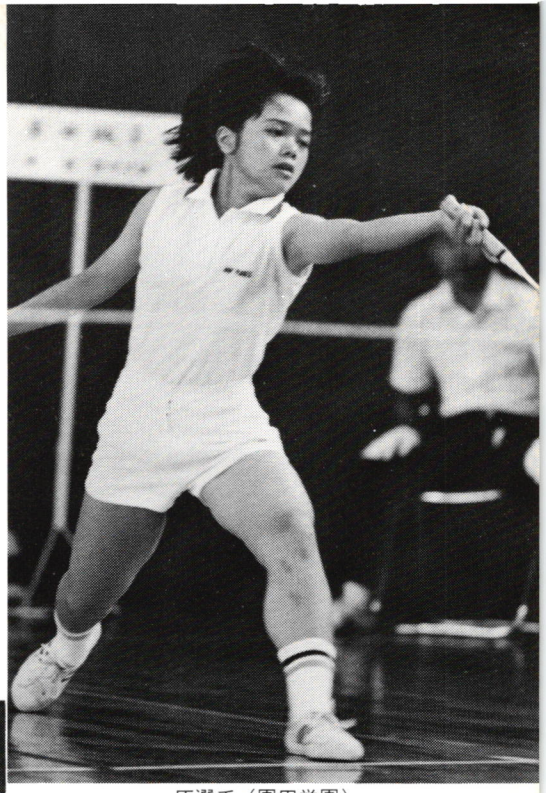


スイートスポットの広さがちがう

ALL GRAPHITE SH



どこでも練習はできる



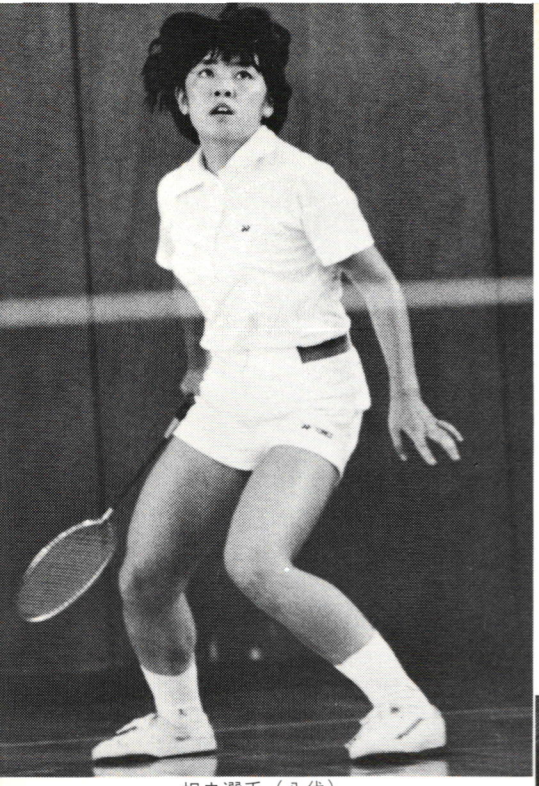
原選手（園田学園）



児玉・柳沼組（千葉学園）



上野・高田組（真岡女）



相良選手（八代）



ファイナルゲーム「こりゃまずいな」



高峯和・高松組（熊本中央女）



三田・中田組（藤園女）



竹の特性を生かした話題のバンブーラケット。ハイ・トーマス

No. B45 ハイ・トーマス ¥4,800　★鼎革絹混手用ロングテーパーシャフト フレーム・カバー付

竹製なればこそ発揮できる威力がバドミントンのプレーに適した材質の特性であることに着目して、その研究成果を集積した、バンブーラケット〈ハイ・トーマス〉。竹と木の合板による強靭なフレームと細くて長いテーパーシャフトによる抜群の反撥力と反撥音。薄いフレームに竹独特の強さとしなりがシャープな振りと動きを可能にします。ガット張りによるラケットの変形が起らなく、ソフトグリップが手に良くなじみます。

日本バドミントン協会推奨

球ばなれの早い極限の0.75㎜。新発売。

HY-SHEEP Super ハイ・シープ・スーパー



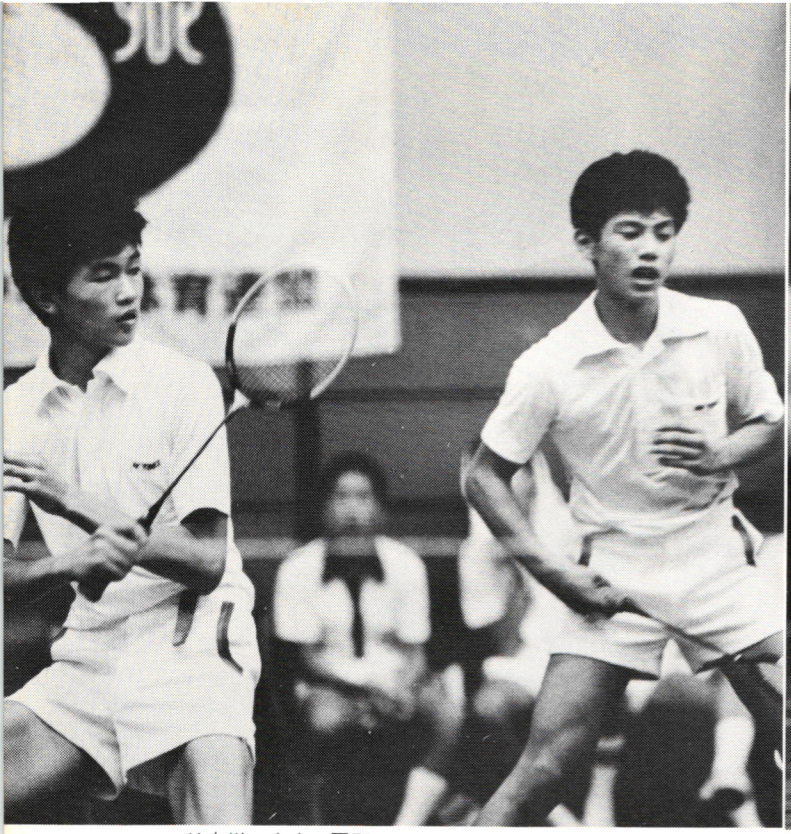
超強力（ナイロン）糸の使用により、インパクト時の摩擦による、ガット切れは解消。細いゲージ（0.75㎜）が球ばなれを早くし、また風による抵抗が少ない為、シャープな振りを生む。打った時の確かな手応えは長期間の使用にもゆるみがなく、常に鋭い反撥力。

温度・湿気などに変質しない優れた耐久性は限界を知らない技術の結晶。張り上げがスムーズで色合いも他に類のない、ラケットとのトータルカラー。常に追求を緩めないゴーセンの技術陣が作りあげた、まさに超スーパー級のガットです。

高級トーナメント用〈オレンジ〉¥500

株式会社ゴーセン

■本社●〒540 大阪市東区豊後町4☎(06)942-5816 代　■東京支店●〒111 東京都台東区蔵前4-14-2☎(03)862-6576 代　■福岡営業所●〒810 福岡市中央区薬院1-4-8☎(092)712-5247 代　■北陸営業所●〒921 石川県金沢市横川7-22☎(0762)47-0200 代



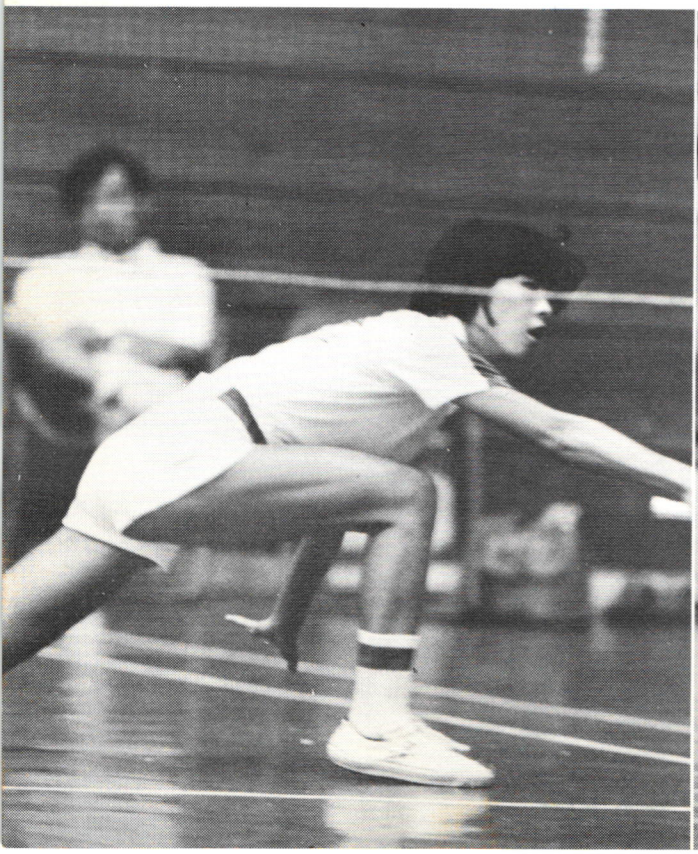
神奈川・上床・平野



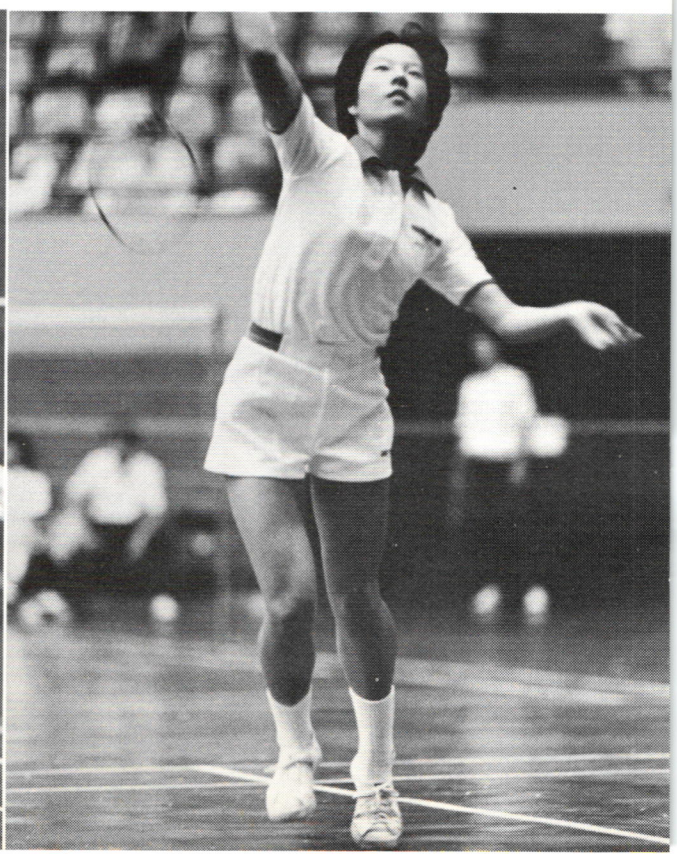
神奈川・豊田

第8回全国中学生大会

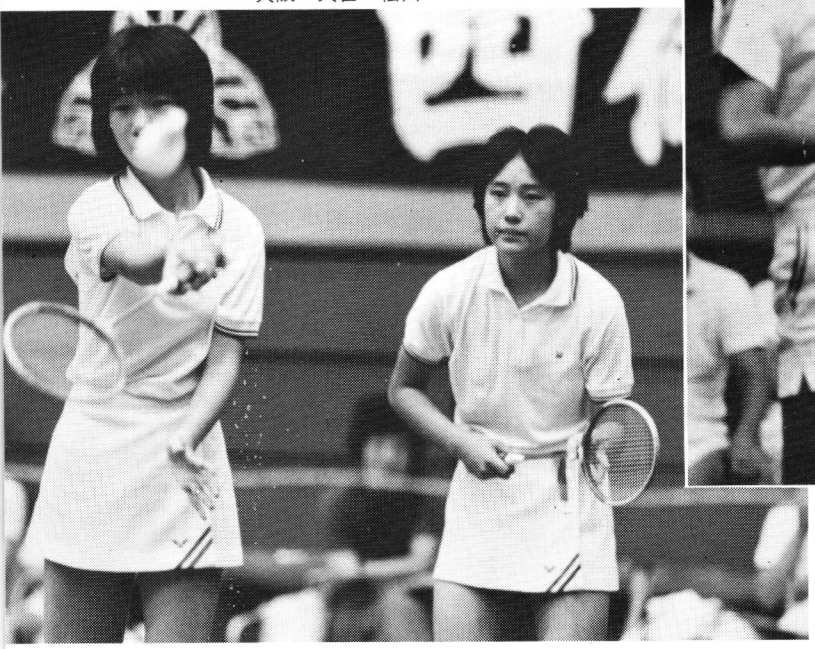
熊本・高峰

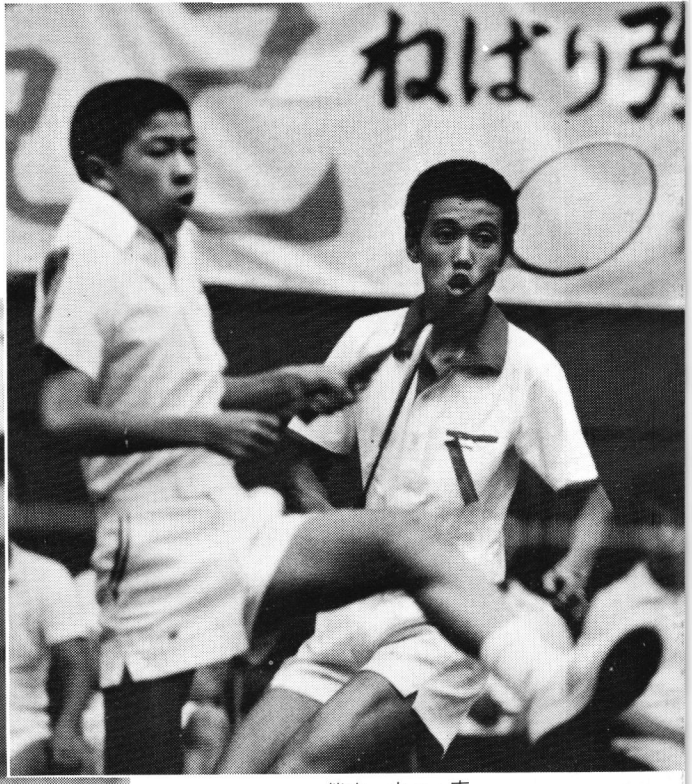


熊本・森山

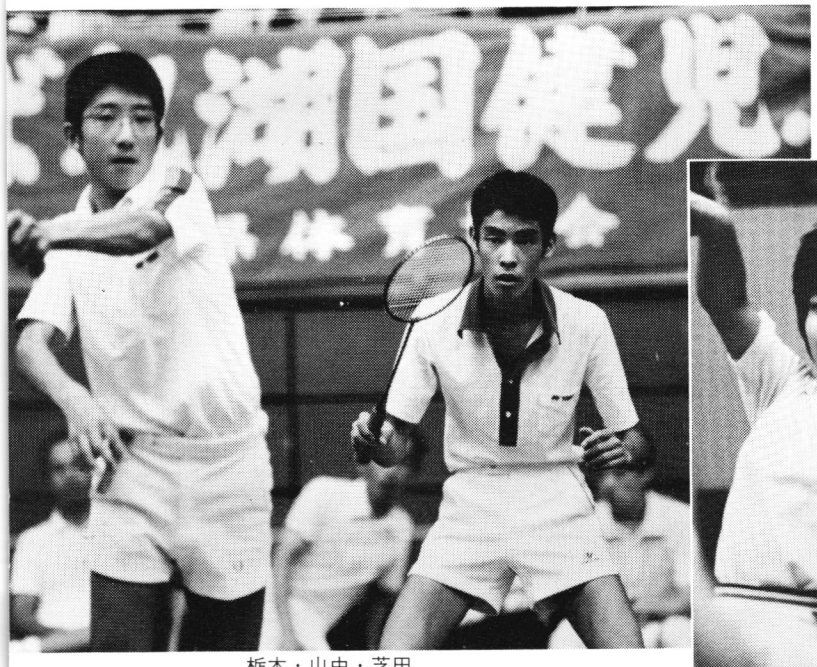


大阪・久世・松田





熊本・山口・東



栃木・山中・芝田

神奈川・金子・大竹





RACKET BADMINTON STRINGS

世界のトーアが贈る
バドミントンガットシリーズ



レオイナ　ホーン
LEOINA HORN S



グラファイト　レオイナ
GRAPHITE LEOINA 66



レオイナ　シープ
LEOINA SHEEP 66



トーア　ストリングス
TOA-STRINGS SSW



トーア　ストリングス
TOA-STRINGS SSW

東亜合繊株式会社

〒658 神戸市東灘区本山中町4丁目7番5号
電話 神戸 078 (441) 2001(代)～5番

●ラケット・アンケート……(下)

悦子さん、土田クンはどんなラケット!?

▼**河村茂美**（18才・四条畷学短期大学1年）
(1) スチール（高校入学時にスチールの方がラケットワークが良くなるという理由で変更）
(2) グリップ
(3) 小（タオルグリップ）
(4) ナイロンガット
(5) 3本

▼**平久美子**（18才・四条畷学園女子短期大学1年）
(1) スチール（中学3年間はウッド、先生にすすめられ、高校のときに変更）
(2) フレーム
(3) 小（タオルグリップ）
(4) ナイロンガット
(5) 2～3本

▼**高岸陽子**（20才・東京女子体育大学3年）
(1) スチール（52年1月にコーチよりすすめられて変更）
(2) フレーム
(3) 小（グリップテープ）
(4) 中国シープ
(5) 4本

▼**高田幹子**（22才・サントリー）
(1) スチール（高校1年のときに変更）
(2) グリップ
(3) 中（タオルグリップ）
(4) 本シープ
(5) 5本

▼**高橋俊則**（21才・日本大学4年）
(1) スチール（大学2年のときに変更・ラケットワークがウッドにくらべてはやくなった）
(2) グリップ
(3) 中（レザー・タオルグリップ）
(4) ワイヤー入りナイロンガット
(5) 3本

▼**谷美津代**（24才・サントリー）
(1) スチール（高校2年のときに変更・手首主体のプレーのため）
(2) グリップ
(3) 大（タオルグリップ）
(4) ナイロンガット
(5) 4本

▼**千葉陽子**（24才・河崎ラケット）
(1) スチール（大学4年のときにウッドが重く感じられたので変更・ラケットワークが楽になった）
(2) グリップ
(3) 中
(4) 本シープ
(5) 5本

▼**辻敏弘**（23才・ヨネックス）
(1) ウッド（53年4月に変更、安定したショットを打てるから）
(2) フレーム
(3) 小（タオルグリップ）
(4) 本シープ
(5) 4～5本

▼**梅野尾悦子**（28才・ヨネックス）
(1) ウッド（8年前に変更）
(2) グリップ
(3) 小（レザー）
(4) 本シープ
(5) 3～5本（試合の時は5本）

▼**梅野尾昌一**（30才・ヨネックス）
(1) ウッド
(2) グリップ
(3) 大（タオルグリップ）
(4) 本シープ
(5) 5～6本

▼**徳田敦子**（22才・サントリー）
(1) スチール（高校1年の春に変更）
(2) グリップ
(3) 中（レザー）
(4) 本シープ
(5) 3本

▼**富田章夫**（20才・法政大学3年）
(1) ウッド
(2) グリップ
(3) 中（タオルグリップ）
(4) 本シープ
(5) 練習のとき5本・試合のとき7～8本

▼**中井基夫**（24才・河崎ラケット）
(1) ウッド（一時期スチールを使用したが、20日間程

で変更。理由・ウッドにしかないスイートスポットの広いこと、フレームに振動吸収性があることなどから）
（2）フレーム
（3）中（タオルグリップ）
（4）ナイロンガット
（5）3本

▼**西尾真理子**（24才・サントリー）
（1）スチール（中学1年～高校1年はウッド、高校1年～大学2年はスチール、大学2年～社会人1年目はウッド、社会人2年目～現在はスチール・手首、肩などを痛めたので、いろいろ変えて試みた）
（2）ほぼ同じ
（3）中（タオルグリップ）
（4）本シープ
（5）5本

▼**西山博司**（18才・中央大学1年）
（1）ウッド
（2）グリップ
（3）中（タオルグリップ）
（4）ナイロンガット
（5）3本

▼**沼能久子**（23才・旭光学）
（1）ウッド（5年位前より）
（2）フレーム
（3）中（タオルグリップ）
（4）本シープ・ナイロンガット
（5）5～6本

▼**原口恵子**（17才・四条畷学園高等学校3年）
（1）スチール（高校1年より）
（2）グリップ
（3）中
（4）ナイロンガット
（5）3本

▼**長谷川博幸**（21才・中央大学4年）
（1）スチール
（2）グリップ
（3）大（グリップエンドの部分にだけタオルグリップを巻く）
（4）ワイヤー入りナイロンガット
（5）3本

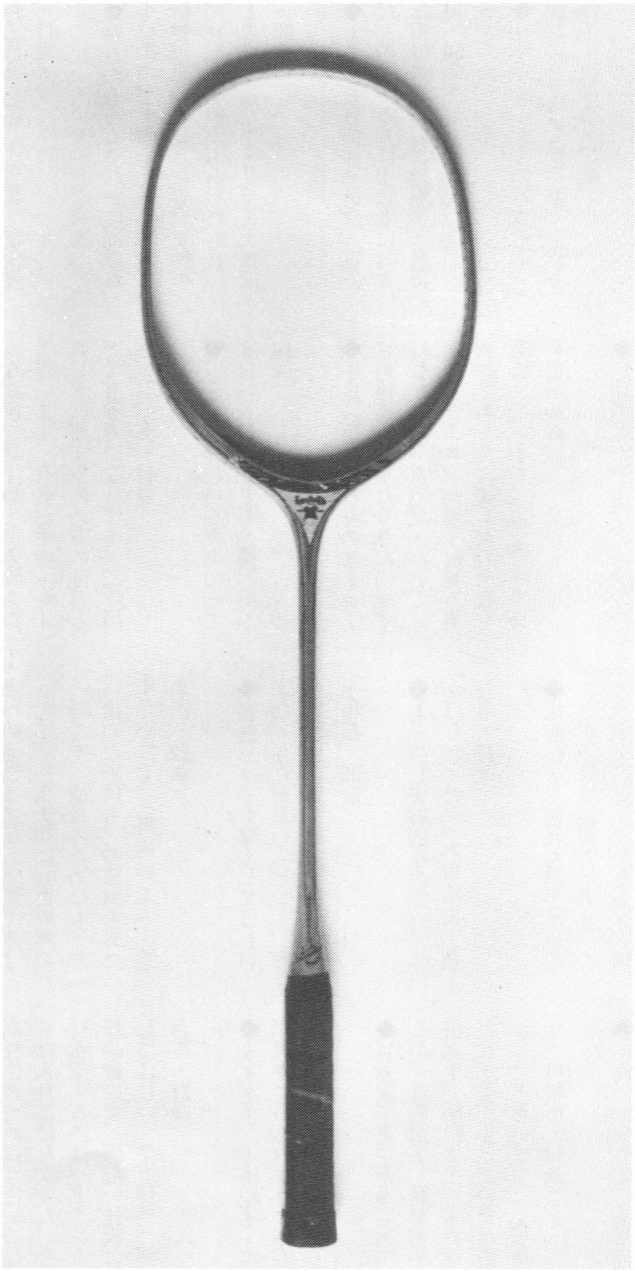
▼**宮森庄吉**（20才・法政大学3年）
（1）ウッド
（2）グリップ
（3）中（タオルグリップ）
（4）本シープ
（5）3本

▼**米山孝二**（21才・中央大学4年）
（1）ウッド
（2）グリップ
（3）中（タオルグリップ）
（4）ワイヤー入りナイロンガット
（5）3本

▼**湯木博恵**（29才・河崎ラケット）
（1）ウッド
（2）グリップ
（3）小（レザー）
（4）本シープ
（5）3～5本

▼**渡辺多喜子**（22才・河崎ラケット）
（1）スチール（53年1月に変更・ウッドでヘッドの軽いものが手に入りにくいため）
（2）グリップ
（3）小（タオルグリップ）
（4）本シープ
（5）3～4本

（以上敬省略、アイウエオ順）



20年前はこんなラケットだった

◆読者と編集者◆

特集☆「ガッツ・バドミントン」を読んで

小島一平選手著「ガッツ・バドミントン――限りなき挑戦」は、おかげさまで大好評。いまも毎日発送に追われています。

インターハイ、全日本教職員、全国中学の三大大会が続いたため、編集部が手うすになり、だいぶお待たせしてしまいました。大変申し訳ありませんでした。編集部の予想をはるかに上回る数のご注文のため、箱づめ、ひもかけ、そして発送と、大急ぎでやりましたが、一部重複や、数量違いが出たようです。

当方で送料を負担いたしますので、お心当りの方はご返送ください。

また、二、三通ですが〝転居先不明〟〝室番不明〟で戻ってきましたので、未着の方はすぐハガキでご連絡ください。とくにアパート、マンションの方はくわしい部屋ナンバーを忘れずに。

なお、「ガッツ・バドミントン」にはさみ込みの愛読者カードのアンケートにぜひお答えください。

大切な資料といたします。

いままでに届いたものの中から、いくつか〝読者の皆様の声〟としてご紹介します。

◆もう少し写真を多くしたらよいと思う。（青木伸樹・北海道・17歳）

◆写真がとてもきれいに写され、小島氏のバドミントンに対する情熱が肌で感じられる。女性のプレーヤーの本もあったら良いと思う。（諫山まり子・大田区・32歳）

◆もう少し技術面での突っ込んだものを、とくに上級者に対する指導書を。（荒島敏幸・名寄市・50歳）

◆女子プレーヤーの写真ももう少しのせてほしかった。（鈴木淳子・逗子市・17歳）

◆トレーニングや試合運びについて、もっと指導がほしいので、お願いします。編集がんばってください。（清水美和・横浜市・15歳）

◆小島一平氏の指導の教育テレビ番組がありましたが、あのような企画を誌上版でできたらなと思います。有名選手のトレーニングに対する考え方の寸言もとても参考になります。（窪田薫・函館市・44歳）

◆もう少し詳しい写真をのせてほしい。（臼井重明・藤沢市・16歳）

◆小島一平さん自身のストロークの連続写真をたくさんのせてほしかった。ガッツ・バドミントン、ヨーロッパ選手に見る実戦テクニックに続く本の出版を期待しています。（梶典彦・日野市・19歳）

◆だれでもが上達したいから本を買ってまで勉強し、体で覚えようとしているのだから、もっともっと細かい注意、マナーを。まだまだバドミントン愛好者がふえることを思って、バド界の発展を。（伊東光男・大田区・34歳）

◆女性プレーヤーの著書も出していただきたい。表紙、写真解説から本文のすみずみまで著者の誠意と情熱がゆきとどいている、との印象を受けました。バドミントンに限らず、生きることへの意欲まで伝わってくるようです。一生大切にしたい本の一冊です。成長のためにも、思い出のためにも、やる気をおこすためにも。（町田めぐみ・豊島区・22歳）

◆表紙だけでも厚くしてほしい。また、写真が悪い（ピント、写り）と思います。（柏倉里志・上川郡・30歳）

◆もう少し実戦的なアドバイスがほしかった。（大川浩史・越谷市・17歳）

◆体験により競技を語っていることが非常に説得力があり、ことバドミントンにかぎらず、何かを求める若者たちに読ませたい本である。（今林三恵子・横浜市）

◆もっとカラー写真を豊富にしてほしい。さらに言えば、選手の大型ポスターなどをつければなお良くなると思う。（白杉隆雄・北区・15歳）

◆この本の感想としては、バド界に連載された小島一平さんの文章はすべて入れてほしかった。とくに「インターハイをめざす高校生のために」というシリーズは入れてほしかった。今後刊行希望するのはバドミントンの理論書です。阿部一佳氏に執筆してほしい。（小野純一郎・仙台市・21歳）

◆女子選手（中山紀子・湯木博恵選手）のこのような本も見たい。（片瀬寿賀・横浜市・15歳）

◆日本選手男子が多くのっているが、近藤選手、高田選手、徳田選手、植野選手、米倉選手など女子も、もっとのせた方が良かったと思います。（斉藤かおり、川崎市・14歳）

◆中高、ママさん、実業団を区

分して書いてください。より具体的に練習方法や回想録など。バドミントン界は少し高度すぎますのでやさしく書いてください。（西崎英良・御坊市・37歳）

◆こんな風な優秀なプレーヤーが書いた本をもっと出してほしい。とくにこの本は男子プレーヤーのことが多いので、女子プレーヤーのことを書いた本を出してほしい。（高橋典子・仙台市・16歳）

◆後輩のコーチをしていますが、ぜひとも後輩に読ませたい本です。あらためて小島さんを尊敬しなおしました。（安孫子卓郎・調布市・22歳）

◆回想、記録記事的な感じが強く、この面は充実。フォームなどの連写はコマ数も少なく、写真のコントラストも不十分で、ラケットがバックのために見えぬものもあり、やや不備で残念。専門技術を内容とした刊行物も指導者のために出版してほしい。（馬場敬蔵・相模原市・39歳）

◆珍しい写真があったのがよかった。小島さんのサインも刷り込んだらよかったと思う。また今後、ルールの解説書（実例つきで）の刊行を希望する。（関口明・喜多方市・48歳）

◆私は4月からバドの顧問をしていますが、プレーの経験がありません。本書は指導的立場の人に対しても、最良と思います。とくに第I部の体当り半生記の精神力の強さは非常に感銘をうけました。このようなことを教えられたらと思います。一般の技術書にはない、いいものがあります。第II部もしかりです。（小川修・神奈川県愛甲町・30歳）

◆子供二人がバドをやっております。高校と中学の奈良県のトップですが、全国的にみるとレベルが低いので、この本を読んで走り込まなければ勝てないということを自覚してくれればと思います。小島さんの努力には頭が下がります。（大野広司・奈良市・42歳）

◆小島氏のバドミントンに対する心構えのようなものを知ることができ、とてもよかった。しかし、実戦アドバイスの面で、もう少し具体的であれば、もっとよかったと思う。小生のようにこれといったコーチがいない場合、理論はともかく、感覚というものが一番わからないので困るのです。（長橋幸好・目黒区・24歳）

◆とても参考になりました。私達の学校でも取り入れたいと思います。（安藤真紀・市川市・13歳）

◆バドミントンを始めて三年目の私にとって、とても参考になりました。これからもこういう本を出版してほしいと思います。（川島雅幸・長野市・18歳）

◆分解写真の一つのストロークについて20枚くらいにして、もっと多く載せてほしかった。（武田正・世田谷区・19歳）

◆この本を読んでいろいろ勉強になった。また、この本のような内容をもったいろいろな選手のものがほしい。（成田俊章・立川市・16歳）

◆全体として写真が豊富で楽しかった。小島さんのガッツなバドミントンライフにあらためて感心させられたが、欲をいえば、第II部の実戦アドバイスをもう少し充実させてもらいたかった。（岡本次郎・岡山市・27歳）

◆写真が大きく紙もよく、よかった。（渡辺信子・柏市・17歳）

◆写真を数多く使用し、実によい。（上野誠也・新座市・21歳）

◆小生は教師になって初めてバドミントンをやりだしたのですが、やはり基本的なことになると経験もないので、よくアドバイスができません。対心者を教える、または、自分一人で練習できるような本の刊行を望む。（細田宏・飯能市・23歳）

カラーで迫力十分のグラビア・ページ



◆この本のおかげで、スランプ脱出成功。インハイ後、どうにも気ぬけしていた時だったので助かった。次は、女子プレーヤーの本、とくに湯木さんのこれと同様のものがほしい。（中川育子・高松市・17歳）

★どうも貴重なご意見をありがとうございました。今後の企画に活用させていただきます。とりあえず女子プレーヤーによる書き下しを企画したいと思いますので、ご意見、ご希望をどしどし編集部あてお送りください。

第8回全国中学生バドミントン大会

◇男子団体

神奈川、歓喜の初栄冠

“チーム一丸”で混戦を抜け出す



初優勝に輝く神奈川県チーム

近年、急速に日本バドミントン界の土壌になりつつあるこの全国中学生バドミントン大会も、今年ですでに8回目を迎え、今年は名古屋市、金のしゃちほこを誇る名古屋城のすぐ眼下、愛知県体育館で、8月18・19・20日と、チビッ子達の威勢のよい好試合が展開されました。

例年にない酷暑にもかかわらず、冷房の効いた体育館は絶好のコンディション、当事者の選手達より、観客席の応援の父兄の方が熱狂する場面もしばしば見られ、家族的雰囲気がいっぱい。

〝未来の銭谷〟〝未来の湯木〟を目指すチビッ子達の奮闘は、ますます盛んになるこの大会を象徴するかのようでした。

▼男子団体3回戦

熊本 2―0 富山

茨城 2―0 岐阜

大阪 2―1 秋田

埼玉 2―1 北海道

神奈川 2―1 石川

滋賀 2―0 山形

新潟 2―1 東京

栃木 2―1 福井

▼同準々決勝

熊本 2―1 茨城

山口東 1（11―15 15―9 9―15）2 荒井 飯村

伊東 2（15―0 15―6）0 大輪

福田 2（15―1 9―15 15―1）1 宮本

埼玉 2―1 大阪

中村 2（15―5 15―4）0 西村 長浜

儘田 0（12―15 3―15）2 北田

山本2 (15—12 15—3) 0宮里
神奈川2—0滋賀
上床2 (15—9 15—5) 0藤沢
平野2 (15—9 15—5) 0塩田
豊田2 (18—13 14—18 15—7) 1松浦
栃木2—0新潟
山中2 (15—9 11—15 15—10) 1鈴木
芝田2 (15—9 11—15 15—10) 1宮下
荒川2 (18—13 15—12) 0樋口

▼同準決勝
熊本2—1埼玉
東山口0 (3—15 1—15) 2中村
伊藤2 (15—6 15—5) 0儘田
福田2 (15—12 15—3) 0山本
神奈川2—0栃木
上床2 (15—9 18—16) 0山中
平野2 (15—9 15—9) 0芝田
杉山2 (15—12 15—9) 0荒川

▼同決勝
神奈川2—0熊本
上床2 (15—7 15—5) 0伊東
平野2 (15—6 15—2) 0山口東
豊田2 (15—7 15—5) 0伊東

（神奈川は初優勝）

優勝の決まった一瞬、神奈川県チームは、監督も選手もいっせいに飛び上がって、喜びを表現した。

「関東大会を優勝したので、チャンスはあるなと思ったが、まさか……」（須田兼三郎監督）

その〝まさか〟が、本命なき戦いを切り抜けて実現しただけに、嬉しさもひとしおだったのか。

それとも「毎年毎年、熊本には苦い水を飲まされてきたが、やっと恩を返すことができた」という言葉にあるように、長い間の溜（りゅう）飲を下げたせいか。

それでも「熊本の、県内一体となった選手育成の努力には、頭が下がります。われわれも良いところを少しでも見習って、一日も早く、一貫した選手作りができるような、体制を築かなければなりませんね」と、謙虚な態度も忘れたりはしない。まだまだ、これからの神奈川には難問が山積している、といわんばかり。

今年は「選手がよくやってくれた。関東大会から休みなしで強化練習に入って、強行スケジュールかな、とも思ったが、優勝した勢いを、そのまま持ち込んだのがかえってよかった。伸び盛りの選手には、好結果になった」と、勝つときは、何もかもうまくいくものなのか。

「強化練習では、地元高校生の胸を借りたり、杉田博先生（立野高）や、小島一平さんに相手をしてもらって自信がついたようです。とくに一平さんには、名古屋の旅館に一緒に泊ってもらい『あの小島さんが一緒に泊まるの!!』と、生徒達は大変な喜びようで、まるで百人力を得たように、大きな心の支えになったようです。」県一丸となっての勝利を、強調したい表情。

それにしても、神奈川県チームの戦いぶりは、戦国模様の予想に反し、まずダブルスの上床、平野君が全勝を飾り、突破口を開く活躍。豊田、杉山君が大型の力のあるシングルスを見せて締めくくり、順風満帆の感があった。

まだ興奮の余韻さめやらぬ帰りの車中では、監督、マネージャーの先生方が集まって「帰ったら早速、祝賀会を開きたいですね。そして生徒達には、思い出に残るように、レプリカを贈ってやりたいですね」と即時可決。その顔は、温厚な生徒おもいの先生のそれだった。



思わず「バンザイ!!」

第8回全国中学生バドミントン大会

◇女子団体

熊本、断然の4連勝

早くも〝ユ杯候補〟の呼び声



圧倒的に4連勝の熊本県チーム

▼女子団体3回戦

熊本 2—0 愛知A
茨城 2—0 長崎
大阪 2—0 秋田
香川 2—0 石川
滋賀 2—0 栃木
神奈川 2—0 福井
埼玉 2—0 新潟
北海道 2—0 高知

神奈川 2—1 滋賀
金子 9—15 西村史
大竹 2 15—1 15—11 1 西村康
屋代 11—12 8—11 2 平山
熊沢 2 11—2 11—6 0 大野
埼玉 2—1 北海道
中島 4—15 上川
石橋 0 8—15 2 橋本
山田 2 11—6 11—4 0 小池
星野 2 11—8 11—3 4—11 1 酒井

▼同準々決勝

熊本 2—0 茨城
陣内 2 15—2 15—0 0 古藤沼
橋口 2 11—6 11—0 0 日向
高峰 2
大阪 2—0 香川
久世 2
松田 2 15—1 18—17 14—18 1 真多田鍋
新木 2 11—3 11—8 0 山内

▼同準決勝

熊本 2—0 大阪
橋口 2 15—11 15—4 0 新久世木
陣内 2
森山 2 11—2 12—11 0 松田

神奈川　2―0　埼　玉

金子　15―3　石橋
大竹　15―7　量野
2　0

屋代　9―12　山田
12―10　1
11―6

▼同決勝

熊　本　2―0　神奈川

陣内　15―2　金子
橋口　15―1　大竹
2　0

森山　11―9　屋代
2　11―0　0

（熊本は4連勝4度目）

熊本県の、完勝。

これほどまで、下馬評通りの圧倒的な強さを見せつける例は少ない。

初戦から決勝まで、すべてストレート勝ちを収め、その内容もまったく一方的なものだった。

ダブルスのコンビは、2回戦が陣内、井村さん、3回戦が井村、橋口さん、準々決勝が陣内、橋口さん、といった具合に目まぐるしく替わり、一体どのペアが最強なのか、との問いに「人材が多すぎて、困りますばい。ワッハッハッハ」。豪快に笑い飛ばして、余裕しゃくしゃく。登録全選手を試合に出そうという腹が、ありありとうかがわれる。

さらに驚くことは、主力となったシングルスの2人、森山、高峰さんは、何とまだ2年生、早くも〝ユーバー杯候補〟の声が上がるのも無理のない話か。

素質に恵まれた美しいフォームは、将来を嘱望されるに十分。

森山弘美さんは、ドリブン・クリアーで攻めて、スマッシュを決めるけれんみのないプレー、力強いスマッシュがコーナーに決まり出すと、手がつけられない正統派。

高峰尚子（ひさこ）さんは、インターハイで活躍した彰子さん、和子さんとの三姉妹の末っ子。素質は「その中でも一番」の持ち主。

県内、九州の大会で優勝を分け合って、実績もいうことなし、大会前は葦原健身先生に引率されて、仙台、東京、神奈川と武者修行の旅で腕を磨き、名古屋へ乗り込んできた。

仙台では、先生の参加した教職員大会を見学、かたわら朝は6時半に起床してランニング、試合の始まるまで体育館で1時間の練習、試合が終わってから3時間の練習、その間、昼は屋外でのランニング、フットワーク、素振りと、ものともせずにこなしてきたという。

仙台でも、神奈川でも高校生、一般を相手になで切りにしたというから、その強さがおわかりいただけよう。

鬼コーナ・葦原先生に鍛え抜かれて、基礎体力、スタミナも満点。現時点で〝ユ杯候補〟の折り紙をつけてもよさそうな逸材である。



握手と同時に笑みがこぼれます

「今年は男子は不作」と言いながらも、熊本県は準優勝の好成績を挙げ、女子は、連勝街道をばく進中、まだまだ記録は伸びそうである。

「来年もまた、強か選手ば連れて来まっしょ」と、5連勝を約束するような口ぶりが、やけに頼もしい。

他県に先がけて、小・中学生を一貫して指導するシステムを敷くパイオニア精神は、今年は男子のインターハイ三冠王を生み、ようやく、その成果を改めて見直す時期がやってきた。

第18回西日本学生バドミントン選手権大会

岡山市

単は田島(男)、石川(女)が勝つ

複は増田伊・西堀(男)、平・河村

第18回西日本学生バドミントン選手権大会は、日本三名園の一つ後楽園を有する岡山市で、7月24日から29日までの6日間、熱戦が展開されました。

今大会は、西日本各地区の強豪選手がほとんど顔をそろえ、うだるような熱さの中、充実した試合が数多く見られました。

▼男子単準々決勝

本田（熊大） 2—1 諸多（同大）
田島（大経大） 2—0 足立（近大）
増田（近大） 2—0 山本（大経大）
西川（近大） 2—1 嘉生（奈教大）

▼同準決勝

田島 2（15—13, 15—3）0 本田
増田 2（15—1, 15—12）0 西川

▼同決勝

田島 2（15—13, 15—10）0 増田

▼女子単準々決勝

石川（四条畷） 2—0 吉川（天理大）
平（四条畷） 2—0 福岡（武庫川）
河村（四条畷） 2—0 寺坂（四条畷）
前川（四条畷） 2—0 阿部（天理大）

▼同準決勝

石川 2（11—1, 11—4）0 平
河村 2（11—8, 11—2）0 前川

▼同決勝

石川 2（11—8, 12—10）0 河村

▼男子複準々決勝

田島・岡田（大経大） 2—0 岡山・竹本（近大）
重永・渕上（福大） 2—0 大村・毛利（金沢大）
増田・西堀（近大） 2—0 中村・藤堂（京産大）
日笠・池田（島大） 2—0 河合・宮地（福大）

▼同準決勝

重永 渕上 2（15—12, 15—11）5 田島 岡田
増田伊 西堀 2（15—2, 15—3, 11—15）1 日笠 池田

▼同決勝

増田伊 西堀 2（15—12, 15—3）0 重永 渕上

▼女子複準々決勝

前川・楠田（四条畷） 2—0 古田・福岡（武庫川）
石川・寺坂（四条畷） 2—0 角谷・杉本（東海女）
平・河村（四条畷） 2—0 野入・西村（東海女）
網家・井口（武庫川） 2—0 阿部・吉川（天理大）

▼同準決勝

石川 寺坂 2（15—2, 15—6）0 前川 楠田
平 河村 2（15—3, 15—5）0 網家 井口

▼同決勝

平 河村 2（15—10, 15—5）0 石川 寺坂

〈田島VS増田〉

昨年のこの大会を制した本田を破り、意気ようようと勝ち上がってきた田島と、実績のなかった西日本で、ジンクスを吹き飛ばす安定感を見せた増田との対戦になった。

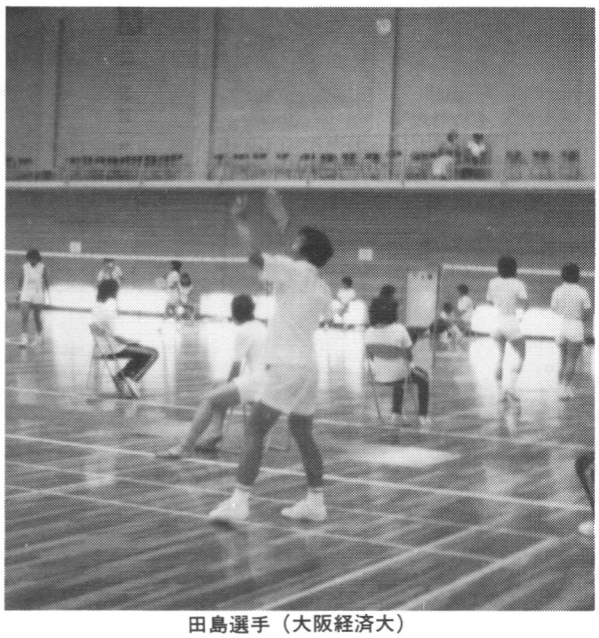
ともにダブルスでもベスト4へ残っており、スタミナが心配されたが、増田の身体が先に、試合を放棄したようだった。

第1ゲーム、増田は巧みなスマッシュレシーブと配球で、田島を揺さぶり、絶好のチャンスでない限りスマッシュを打たない作戦。

しかし、中盤からはまるで、糸が切れたように集中力がなくなり、足も動かず、あっさり逆転を許してしまった。

第2ゲームに入っても、増田は無理なスマッシュ、雑なプレーが目立つ。

一方、田島のスマッシュは哀えを見せず、あっという間に11—3とリード。しかし、ここから増田も、必死でスマッシュを拾い徐々に追い上げるが、12—13までが精いっぱい。体力、気力に優る田島がこれを振り切り、初のビッグタイトルを獲得した。


田島選手（大阪経済大）

〈石川VS河村〉

女子シングルスは、予想通り四条畷がベスト4を独占し、興味は石川対1年生コンビ・河村、平の対戦にしぼられた。

が、石川は6月の関西選手権4位の不振をはね返し、見事な復調ぶりを示してくれた。

試合開始から決勝戦は、緊迫したラリーが続き、真夏の体育館をさらに〝熱く〟する内容となった。

河村のスマッシュを、石川は懸命にレシーブ、自らも打って出てスマッシュの打ち合いとなった。

石川が9—4とリードを奪うが、河村もよくがん張って10オール。しかし、上背と力に優る石川がポイントを重ねて第1ゲームを先取。

第2ゲーム、今度は、河村が、石川のフォアサイドへのカットとスマッシュで8—4とリードしたが、ここで疲れが見え始め、ネット前が遅くなり、ハイバックで逃げる場面がしばしば。

これに対し、石川のハイバックはクロスに振るなど余裕が見られ、一挙に逆転に成功した。


石川選手（四条畷短大）

〈増田・西堀VS重水・渕上〉

ともに、関西と九州のナンバー1、今年の東西対抗代表ペアである。

第1ゲーム、重水・渕上組は考えられないような凡ミスを続出させ、準決勝で見せた攻撃が影をひそめていた。

第2ゲームになると、ようやくエンジンがかかり始め、ネット前の速いタッチから、相手に上げさせてスマッシュを打つパターンが出てきた。

しかし、それを増田・西堀組は、冷静に前衛バック側のハーフに流し、応戦ともに持ち味を生かした好ラリーを見せ、にわかに予断を許さぬゲーム展開となった。

12オール。ここで増田の制球力にリードされて、西堀が粘り強くスマッシュを打ち続け、雌雄を決した。

重永・渕上組も、攻撃力では今大会ナンバー1であるが、時折り集中力に欠け、ミスを続発させたのが惜しまれる。

〈石川・寺坂VS平・河村〉

両ペアとも、苦戦することもなく楽々と決勝へ進出した。

石川・寺坂組は、今大会初めてのコンビとはいえ、コンビネーションも良く、寺坂のカットで相手の体勢を崩し、石川のスマッシュで確実にポイントしてきた。ただ威力のあるスマッシュを打てるのが石川だけで、それに対し河村・平組は、両方打てるのが強み。

第1ゲームは、サービス権の移動がわずかに3回と、一方的に河村・平組が攻めまくり15—5で先取。

第2ゲームになると、石川・寺坂も懸命に粘るがなかなかポイントにならず、3—10からようやく7—10まで追い上げたものの、ここまで。

河村・平組は、高校時代からのペアだけあって、大きく乱れることがなく、終始余裕があり西日本ではまず敵なしといったところ。今年の東西対抗、インカレの活躍に期待したい。

手のひらにのる モスクワ・1980年

1980年オリンピック公式記念銀貨・金貨第1次発行貨のお知らせ

ソ連政府が、第22回オリンピック・モスクワ大会を記念して発行する公式記念貨。

ソ連では初めてのオリンピック開催に、全土をあげて取り組み、記念貨もその熱意が伝わる優れたものになっています。

この秋には、金・銀の第2次発行貨が発売され、最終的には合計16シリーズ39種の発行が予定されています。

全シリーズを通して記念貨は、法定公貨として承認されており、売上金の一部は選手派遣の資金として、日本オリンピック委員会に寄贈されます。

また、今後の発行分には、世界で初めて〝白金貨〟の発売も予定され、全シリーズがそろえば、これまでにない貴重なコレクションとなります。なお入手難も予想されるため、お早めにお求めください。

＊　＊　＊

1、品目（ソ連政府国立銀行発行の公貨）

(1)銀貨

（銀品位900／1000）

未使用貨　6種揃　特製ケース入セット　10ルーブル貨2枚　5ルーブル貨4枚

(2)金貨

（金品位900／1000）

未使用貨　特製ケース入　100ルーブル貨1枚

2、価格

銀貨1セット

22、500円

金貨1セット

55、000円

3、申し込み

編集部まで、代金を添えてお申し込みください。

4、配達

お申し込み次第、西武百貨店より直送いたします。

5、締切り

予定数になり次第締切ります。

6、販売内容

(1)西武百貨店が、国内の総発売元として全国販売に当っています。

(2)ソ連での記念コインの発行は、1924年以来54年ぶり、また、初めてのソ連製オリンピック・コインであります。

(3)全世界への発行量が、モントリオール・オリンピックの約8分の1で、極めて少量であります。

(4)日本では、わずか銀貨3万セット、金貨1万セット（1シリーズ）のみ販売。

(5)ソ連の鋳造技術を駆使した芸術的仕上がりで、この記念コインは10ルーブルおよび5ルーブルのソ連法定公貨であります。銀貨、金貨、プラチナ、それぞれ'78春・秋、'79春・秋、'80春と5シリーズを発行、各シリーズともデザイン内容が異なります。

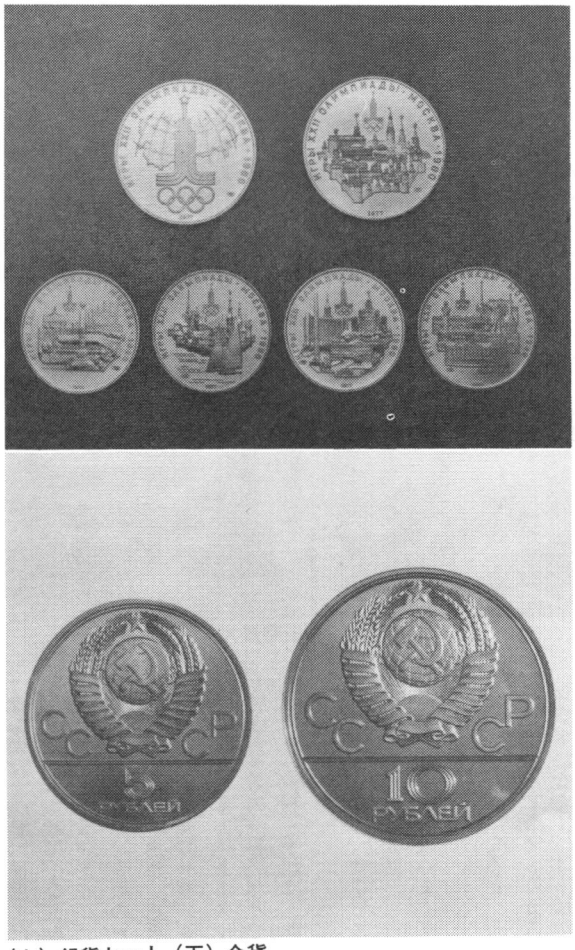
7、斡旋商社

㈱西武百貨店　特販部

TEL、983-0161

内線3785～8

担当　竹渕



（上）銀貨セット（下）金貨

ノンフィクション・アラカルト

⑥『冷血』

放送ジャーナリスト・高田正純

現代アメリカのノンフィクションを語るとき、その原点としてかならずあげられる一冊の書物である。オードリー・ヘップバーン主演の映画『ティファニーで朝食を』の原作者の現代アメリカ文学の鬼才、トルーマン・カポーティの『冷血』（一九六六）である。

カンサス州の片田舎で起きたある殺人事件を描いたこの作品は、ハードカバー版だけで60万部以上売れ、作者自身も「ノンフィクション・ノヴェル」という新しいジャンルを開拓したと豪語する、すぐれた作品である。

新潮文庫に収録されている本書については、読んだ人もいると思うが、ここでは、あらすじを紹介するより、作者がどのようにしてこの記録文学をまとめたかという点について記してみたい。

『ティファニーで朝食を』の出版の翌年の一九五九年十一月のある日、カポーティはニューヨーク・タイムズ紙をなにげなくめくっていると、カンサス州ホルコ発のUPI通信の小さな記事が目についた。

「豊かな小麦農場主、妻と二人の子供が15日自宅で射殺されているのが発見された。この一家は散弾銃で至近距離から撃たれ……」

このUPI電を読んで、第六感から、これこそ自分が長年手を染めてみたいと思っていた記録文学にうってつけの材料だと思った。

このあと一日半じっと考えていた彼は、殺人事件を描くのではなく、ある町の物語を描こうとし、『ニューヨーカー』誌と契約し、一説によると、七万ドルの前金を手にすると、三日後には、助手の女性記者をともなって、現地に入り、さっそく一家の葬儀に参列していた。

たかだか、一、二週間の取材と思っていたカポーティは、以後人口数千のホルコムに、おどろくなかれ、六年も腰を落ちつけ、事件の背景から、捜査状況、二人の犯人の逮捕、裁判、そして絞首刑の執行にまで、立ち会った。

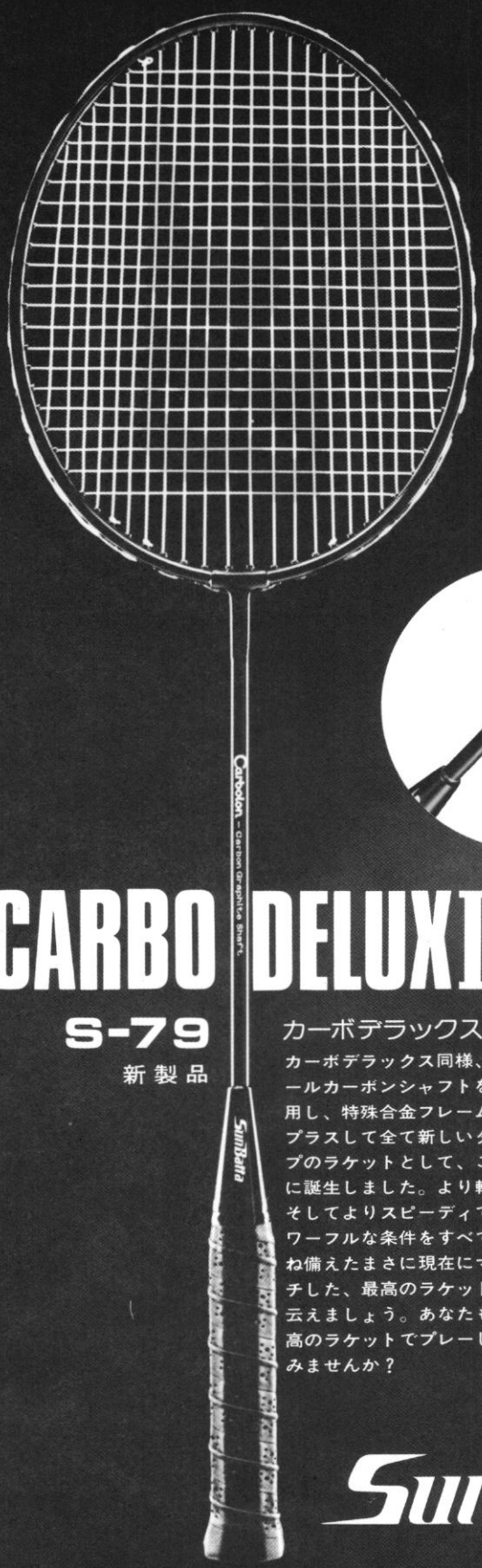
はじめはよそものあつかいを受けていた彼だが、持ち前の好奇心と人なつっこさで、一カ月たらずで、この町の住人、関係者の信頼を得たほか、二人の犯人と親交を結んで、数々のインタビューを行った。

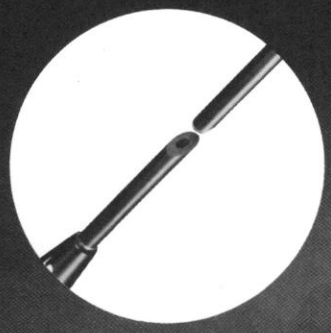
こうした、いまでいう「密着取材」で、彼は『冷血』の五冊分にあたる六〇〇ページというばう大なメモをとったが、この記録の方法がまたユニークである。彼はノンフィクションを手がけようと考えるとすぐ、テープ・レコーダーを使わず、人の話をそっくりそのまま記憶し、あとでタイプしてまとめるテクニックを身につけた。いわばみずから歩くテープレコーダーになったのである。97%の精度で記録できる自信がある、とカポーティは述懐している。

こうして他人の追随を許さぬ取材技法と、ふつうの記者にみられない執念深い調査でまとめた結果生れたのが、『冷血』だが、彼はここで、取材対象を第三者として外から観察するのでなく、それぞれの関係者の心理にまで没入して、いわば事件を追体験するような態度でのぞんだ点が重要である。しかも、作品の中で、カポーティは一人称で語って作者が顔をのぞかせることを避け、淡々とした筆致で、事件の全貌を描いている。親友になった二人の死刑囚から、刑の執行に立ち会いを求められ、カポーティは二日間、吐きつづけ、泣いて過ごし、二人の死後も、墓をつくってやっているにもかかわらず、事件を叙述する彼の文体は奇妙に乾いている。

以上、トルーマン・カポーティの『冷血』の生れたいきさつを述べてみたが、この作品は出版と同時にベストセラーになり、同時代の作家とジャーナリストに大きな影響をあたえてきた。ノンフィクションに関心をもつものは、沢木耕太郎や佐木隆三の作品などで、わが国にもおなじみの「ニュージャーナリズム」のルーツを語るとき、いつもきまって登場するこの作品をもう一度読みかえし、取材のあり方を探ってみるのも無駄ではないであろう。









CARBO DELUXII

S-79

新製品

カーボデラックスII

カーボデラックス同様、オールカーボンシャフトを使用し、特殊合金フレームをプラスして全て新しいタイプのラケットとして、ここに誕生しました。より軽くそしてよりスピーディでパワーフルな条件をすべて兼ね備えたまさに現在にマッチした、最高のラケットと云えましょう。あなたも最高のラケットでプレーしてみませんか？

CARBO DELUX

S-77

カーボデラックス

スチールカーボンシャフトとは違い、純然たるオールカーボンシャフトを使用。その弾力性は従来のスチールシャフトにないすばらしい反撥力を生みだし、多くの反響を呼んでおります。シャフトを若干太くすることにより左右のブレを解決していますので、アタックにレシーブにこの新しい魅力を十二分に発揮させて下さい。

SunBatta

1979年 全英選手権 視察団募集中!!

旅行期間：昭和54年３月18日(日)～３月30日(金)

総 費 用：￥435,000（トラベルローン利用可）

日本バドミントン協会では昨年にひき続いて上記視察団を企画、主催いたします。
世界の檜舞台で活躍する日本選手団を応援し，合わせて全世界の優秀選手のプレーを観戦する絶好のチャンスではないでしょうか。
皆様のご参加をお待ちしております。

ご 日 程

目次	月 日(曜)	地 名	現地時間	交通機関	予 定
1	昭和54年 ３月18日(日)	東京(成田)発 コペンハーゲン着	昼 夜	航空機	着後：ホテルへ （コペンハーゲン泊）
2 〜 3	３月19日(月) 〜 ３月20日(火)	コペンハーゲン			市内見学及び バドミントンクラブ訪問 （コペンハーゲン泊）
4	３月21日(水)	コペンハーゲン着 ロンドン 着	朝 昼	航空機	着後：市内見学 （ロンドン泊）
5 〜 7	３月22日(木) 〜 ３月24日(土)	ロンドン			全英選手権観戦及びバドミントンクラブ訪問 （ロンドン泊）
8	３月25日(日)	ロンドン 発 パ リ 着	朝 昼	航空機	着後：市内見学 （パリ泊）
9	３月26日(月)	パ リ			終日：自由行動(パリ泊)
10	３月27日(火)	パ リ 発 アテネ 着	朝 昼	航空機	着後：市内見学 （アテネ泊）
11	３月28日(水)	アテネ			終日・自由行動(アテネ泊)
12	３月29日(木)	アテネ 発	夕	航空機	
13	３月30日(金)	東京(成田)着	夜		着後解散

ご旅行条件

○総費用に含まれるもの
(1)全行程エコノミークラス航空運賃
(2)各地における空港／ホテル間の特別バス運賃
(3)ご日程に記載の各地市内見学及び試合観戦時のバス、ガイド料金、入場料金
(4)各地における一級ホテルの２人室（原則としてバス、トイレ付）にお２人の宿泊料金および税・サービス料金
(5)毎日の朝食と市内見学時の昼食料金及び各都市到着日の夕食料金
(6)お1人1個ずつのスーツケース運搬料金(20kg)
(7)団体行動中のチップおよび空港税
(8)全英選手権の入場料

○総費用にふくまれないもの
(1)海外渡航に要する費用：印紙代、予防接種、旅行保険、手数料(￥3,000)
(2)上記の食事条件に含まれない食事、および全行程のお飲み物代
(3)その他、個人的性質の諸費用(チップ、電話、クリーニング代など)

○全行程に渡り添乗員がお伴して、ご斡旋致します。

※募集人員は25名と致します。尚、お申込み金、お取り消し料、予締切日等につきましては別途御用意するパンフレットを御参照下さい。

お問合わせ及びお申込みは

〒160 東京都新宿区西新宿1-18-8 スカイビル内
㈱日本交通公社国内・海外団体旅行新宿支店

担当「1979年バドミントン全英選手権視察団」
木本グループ：大野・金田、Tel:03-346-2913

主催：日本バドミントン協会　旅行取扱い：日本交通公社
国内・海外団体旅行新宿支店

日本、インターゾーン進出を決める

8月19日より、トマス・カップ豪亜ゾーン予選のため遠征中の板垣隆房監督以下8名の日本選手団一行は、8月26・27日の対ニュージーランド戦を5―4、9月22・23日の対オーストラリア戦を9―0で降し、インターゾーン進出を決めた。

対ニュージーランド戦では、土田が足首を捻挫し大苦戦。最終試合まで勝負はもつれこんだが、飯野・土田組がパーサー兄弟の追撃を振り切り、辛くも勝利を収めた。

なお、日本選手団は各トーナメントにも転戦。銭谷が、ニュージーランド・オープン、オーストラリア選手権、シルバーボウルのシングルスを制し、大いに気を吐いた。

◇トマス杯豪亜ゾーン予選

▽準決勝

日本 5―4 ニュージーランド

▽決勝

日本 9―0 オーストラリア

◇ニュージーランド・オープン

▽男子シングルス決勝

銭谷 2（15―9, 15―1）0 B・パーサー

▽男子ダブルス決勝

飯野 土田（不明）尾崎 辻

◇オーストラリア選手権

▽男子シングルス決勝

銭谷 2（15―5, 15―5）0 ハリー

▽男子ダブルス決勝

クーパー・コング 2（10―15, 18―16, 18―17）1 飯野 土田

▽女子ダブルス決勝

ギルクス ウェブスター(英) 2（15―11, 15―7）0 徳田 高田

◇シルバー・ボウル

▽男子シングルス決勝

銭谷 2（15―12, 15―9）0 スティブンス(英)

▽男子ダブルス決勝

飯野 土田 2（15―10, 15―8）0 池田 栂野尾

日本バドミントン協会からのお知らせ

ご通知

本会顧問、山田文雄殿は、昭和53年8月16日7時34分肝臓がんのため死去されました。

ここに生前のご功績に敬意を表し、謹んでご通知申し上げます。

同氏役歴

昭和23年5月1日　本会第2代会長就任

昭和31年10月27日　本会会長を辞任

同日　本会顧問就任　現在に至る

日本バドミントン協会

覚書

日本バドミントン協会と、大韓バドミントン協会は、一九七八年八月二三日、東京にて会談し、つぎを決めた。

両国高校バドミントン競技の交歓により、相互技術の向上並びに高校生交流促進を目的として、『日韓高校交歓バドミントン競技会』をつぎにより継続実施する。

記

(1) 一九七九年は大韓民国内に、また、一九八〇年は日本国内に、それぞれが開催地を定め、互に交歓競技し、以後、奇数年は大韓民国内で、偶数年は日本国内で開催するものとする。

(2) 一九八一年以降における、競技会開催に係る事項については、偶数年開催時毎に、両国にて協議することとする。

(3) それぞれの選手団の構成は、役員五名以内、男女選手各六名以内の計一七名以内とし、競技形式は、その都度協議するものとする。

(4) 非開催国選手団に係る経費負担は、つぎのとおりとする。

(a) 開催国は、非開催国の上記(3)一七名以内に対し、五泊六日分以内の開催国内における滞在費を負担する。

(b) 非開催国は、開催国の指定する出入国地との、非開催国選手団旅費を、負担する。

(5) 会費は、毎年八月一〇日より、八月二五日の間を原則とする。

一九七八年八月二六日

◆移転および異動

佐賀県バドミントン協会から、左記のとおり事務局の移転ならびに事務担当者の異動の通知がありました。

▼事務局新住所

佐賀市神野町331の3

佐賀市教育委員会内

〒840 ☎0952ノ24ノ3151(内)4333

▼新事務担当者

木原逸夫（協会常任理事）

演劇随想 7

「心中天の網島」

放送作家　寺田太郎

近松の心中物の主人公は、いたって純情な、それだけに感情的に激しいタイプの男であることが多い。商人紙屋治兵衛は恋する小春の身代金――彼女は曾根崎新地の廓の遊女なのだ――を調達することができない。治兵衛は情死の覚悟である。小春を身受けしようとする男、亀屋太兵衛が出現したのだ。

しかも治兵衛には妻子がある。妻おさんは、夜ごと廓に通う夫の留守を預かり、商売から子供の世話まで引受けて切って回す女房である。夫の情死の覚悟を見て取り、相手の小春に手紙をやって夫の命を助ける手だてを講ずることもする。そういう気働きのあるしっかり者でいて、しかも情にもろく、夫には献身的な愛情を捧げる女性なのだ。まさに封建社会における理想的な人妻である。夫への愛情ばかりでなく、小春が死ぬかも知れぬと気づくと、自分の一身は忘れて小春を助けようとする純情の持ち主……。

だが、そのおさんと治兵衛の兄孫右衛門のあらゆる尽力もついに空しく、いろいろの経過を経た結末として、十月十六日の未明、二人は網島の太長寺へ落ちて行く。死への「道行」である。そして二人の死についても作者門左衛門の筆は微細に思い遣りを行き渡らせ、情緒を心からこめるのである。

門左衛門の筆遣いの細かさ、感覚の美筆さについてはいくら言葉を尽しても尽し切れないと私は思う。元禄時代の三大文学者を挙げれるとすれば小説では井原西鶴、詩歌では松尾芭蕉そして劇作家では近松門左衛門となるに違いない。彼は西鶴の知性に替えるに感性をもってし、芭蕉の自然に都市生活の人事をもってしたと言うべきであろう。

「芸というものは、実と虚との皮膜の間にあるものなり」とは彼が残したとされる言葉。芸というものは、区別しがたいほどの微妙な中間のところにあるものだとの意。

徳川幕府創立からちょうど五十年、承応二年（一六五三）、越前松平家に仕えていた武士の子として杉森信盛は生を享けた。

だが不幸にしてその少年時代に父は浪々の身となり、一家は挙げて京都に移った。当時の世相としてはいちおう幕府の基礎も固まったところなので、諸国の大小藩の整理があり、それに伴って浪人も多く出たのだった。いったんそういう境遇におちると再就職は非常に困難で、前途は暗澹たるものであった。

信盛は、でも一条公という公卿に出仕することができたのだが、不幸にして二十歳の時に主人の死に逢い、失職した。

そののちはまったくの浪人として生活に揉まれたらしいが、ついに劇作の道に入り、それを生涯の職業とした。もともと文学に親しみ俳諧集に名を残すような一家ではあったが、信盛が武士たる地位を棄てて、当時新興の町人芸能であった歌舞伎・人形浄瑠璃の楽屋内の戯作者に身をおとしたのは、三十歳の頃とされる。筆名を近松門左衛門とした。

七十二歳で生を終るまでに、主として名優坂田藤十郎のために歌舞伎脚本を二十余。そしてさらに百数十の人形浄瑠璃本。特にそのうちに心中ものと呼ばれるのは十一篇ある。

心中物は実際にあったことの脚色、こんにちの表現に従えば〈ニュース・ドラマ〉である。男が女と逢い、恋の思いに結ばれるのは遊廓がほとんどであった。つまり遊女との恋なのだ。遊女は金銭に繋がれているし、男は彼女に会うためには金銭を消費（？）しなければならない。結果は世間に不義理を重ね、二人は、あの世の、来世の仕合わせを祈って心中への道行となるのであった……。

「心中天の網島」は享保五年（一七二〇）十月十六日未明に大阪で起った心中事件を脚色し、同年十二月に大阪道頓堀の竹本座で初演したものである。

79年版カレンダー　予約受付中

毎年好評のバドミントン・カレンダーを今年も発行いたします。79年版は読者の皆様の強いご要望により、全ページカラーとします。そして収録プレーヤーも国内選手に限定しました。

発行は11月15日の予定ですが、カラー6ページで定価1200円となります。しかし10月末日までにご予約の方々には、予約特価1000円(送料サービス)でお届けしますので、どうぞお早目にご予約下さい。予約の方法は本誌巻末とじこみの振替用紙の通信欄に、「カレンダー予約」と記入し、申込部数明記のうえ、代金を添えてお近くの郵便局からお申し込み下さい。

◆1979年版バドミントン・カレンダー

◆体裁
B3判(本誌の4倍大)、金具綴じ、表紙ともフページ、2ケ月で1ページ。

◆収録選手
男子＝銭谷欽治、飯野佳孝、土田証雄、長谷川博幸。
女子＝湯木博恵、徳田敦子、高田幹子、近藤小織、植野恵美子、米倉よし子。

◆価格
10月末日までに予約の方々は、1000円・送料サービス。それ以後は1200円・送料実費。

◆発行日(予定)
昭和53年11月15日

合本バインダーも予約受付中

現在品切れでご迷惑をおかけしています「本誌専用合本バインダー」は、12月初めに出来上る予定です。予約を受け付けておりますので、ご希望の方は、左記の送料を加えて、本誌巻末とじこみの振替用紙をご利用のうえ、お申し込み下さい。

◆バドミントン界専用合本バインダー

◆定価＝500円

◆送料＝1冊・300円、3冊まで600円、4冊以上・700円

編集室から



◆遅くなりましたが、今月号は8月に行なわれた大会を中心にお届けします。それでも、盛りだくさんのスケジュールだったため、誌面が足りません。社会人選手権、日韓親善などの模様は来月号になりますので、悪しからずご了承ください。

◆すっかり秋らしくなり、スポーツには絶好のシーズンとなりました。真夏の〝若人の祭典〟が終わったと思ったら、もう秋のイベント〝国体〟〝インカレ〟が始まります。国体は今年から「ナショナル・チーム」抜きとなるため、各県の激しいつば競り合いが見られそうですし、インカレも、長谷川博幸選手が3年連続シングルス優勝を狙い、また四条畷短大と、日体大の激戦も予想されます。〝大会カレンダー〟をご参照のうえ、お近くの方はぜひご観戦ください。

◆8月号から始まった連載「スターティング・バドミントン」いかがですか？　初心に帰ったつもりでお読みになれば、また趣を異にするのでは……と思うのですが。ご感想をどしどし編集部あてお送りください。

◆一流選手の「ラケット・アンケート」参考になりましたか。女子は、ほとんどの選手がスチール・ラケットを使い、男子もダブルス・プレーヤーはスチール、シングルス・プレーヤーはウッドと大別することができそうです。そして、流行といっては変ですが、大方の選手が、グリップにタオル・グリップを巻いています。皆さんもラケットを選ぶ際には、自分の特徴とよく似た一流選手を思い出してください。きっと楽しさが倍増しますよ。

バドミントン界　通巻第108号　1978年10月号　定価 300円

昭和53年10月15日発行
編集人／赤星　三樹
発行人／秦　浩

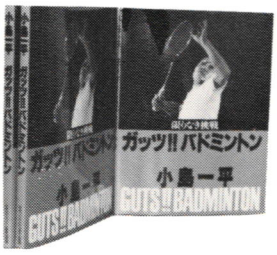
©1978　無断転載を禁ず

発行所・日本バドミントン協会
郵便番号 150 東京都渋谷区神南1－1－1　岸記念体育会館
電話　03－467－3111(代表) 内線351
振替　東京5－9525(バドミントン界編集部)

ガッツ!!バドミントン

限りなき挑戦

小島一平著



- 豪華大型本・菊倍判変型（39・5cm×32・3cm）
- 総アート紙164ページ うちカラー14ページ
- 収録写真約150点 連続写真11フォーム
- 主要大会詳細記録、ルール、審判用語も収録

好評発売中

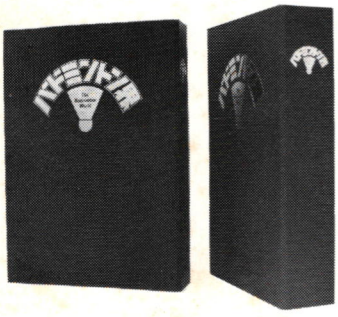
定価2000円　送料240円

お申込みは本誌巻末とじ込みの振替用紙で！

バドミントン界編集部

合本バインダー

バドミントン界専用



- 穴あけ不要
- かんたんに、美しく保存
- 1年分12冊用
- 濃いブルーのレザーに銀パク押し

予約受付中

定価500円

送料：
1冊＝300円
3冊まで600円
4冊以上700円

お申込みは本誌巻末とじ込みの振替用紙で！

バドミントン界編集部



B-9300 Carbonex3

●スリー……¥7,500（フレーム・ケース付）



B-8300 Carbonex7

●セブン……¥7,700（フレーム・ケース付）

パワー時代のラケット。先進のカーボン。

フレームにウッドと特殊アルミ合金の違いはあっても、この2本どちらも今世界のコートで大活躍中。ヨネックス独自のカーボンラケットです。カーボンシャフトのすさまじい弾性が強力なスマッシュを生み出します。そのうえスウィートスポットがぐんと広がり、シャトルをとらえる性能も確実。世界の一流プレイヤー達がパワーバドミントンを目ざしている現在、これこそまさにうってつけのもの。カーボンならヨネックスです。

●日本初のこと－このラケットにはRとXの表示があります。Rはレギュラーでスナップ打法用。Xはエキスパートでフルスイング打法用です。

YONEX®